

信 頼

西大和学園
育友会報



目 次

●巻頭言 育友会会長 中山延一「ご苦労様でした」	1
●祝卒業 特集(1) 教職員から卒業生に「贈る言葉」	2
●PHOTO TOPICS 第36回 清榮祭「音」	14
●高崎中 1 学年部長インタビュー	17
●「Rhythm館」が開館しました	20
●芸術鑑賞会インタビュー「劇団四季で働く」ということ	21
●祝卒業 特集(2) 保護者と卒業生の手紙	24
中学3年生の一筆啓上「愛する家族」への短い手紙	
高校3年生の一筆啓上「愛する家族」への短い手紙	
●祝卒業 特集(3) 保護者と卒業生の手紙	26
中学3年生の保護者からの一筆啓上「愛する子どもたち」への短い手紙	
高校3年生の保護者からの一筆啓上「愛する子どもたち」への短い手紙	

『信 頼』 第73号

発 行 西大和学園育友会

発行日 令和5年3月1日

印 刷 令和5年3月1日

〒636-0082 奈良県河合町薬井295番地

TEL 0745-73-6565(代) FAX 0745-73-1947

西大和学園ホームページ

<http://www.nishiyamato.ed.jp/>

ご苦労様でした

育友会会長

中山 延一



高校3年生の皆さん、ご苦労様でした。色々なことがあったかと思いますが、なにはともあれ、ほっとしている方も多い事でしょう。

これからさまざまな場所に巣立っていく皆さんを見ていると、応援したい気持ちよりも、正直寂しい気持ちの方が勝ってしまいます。

この3年間、あるいは6年間、体育祭では一丸となって応援したり、清榮祭では一所懸命展示物をつくったり、修学旅行や部活で、友達とケンカしたりワイワイしたり。見ているこっちもソワソワしていたものです。そんな皆さんもとうとう卒業します。

これから、どんな人生が待っているのでしょうか？ あなたは「何者」になるのでしょうか？ 国政に関わるような人になるのでしょうか。医者や学校の先生、映画監督というのも「あり」かもしれませんが、どんな人生を選んだとしても、何かしらの、人であったり、国であったり、チームであったり、誰かに「ありがとう」と言ってもらえる事に会ってほしいと個人的には思います。

これから皆さんは散り散りになって、それぞれが様々な道を選んで、夢を追いかけていきます。

春から進むエリアは、そのための大切なステップなのでしょう？

そしてそこに進むまでに、一所懸命サポートしてくれた保護者の皆さんにも、内心感謝しているでしょう？

ならば、皆さんが幸せに生きることが、やはり一番の孝行ではないでしょうか。

春になったら桜が咲くように、同じ頃、あなたたちの花も咲き始めるのでしょうか。

夢は持ったもん勝ち！ 言ったもん勝ち！ その方が叶うと、どこかで聞きました。

惜しみない努力は、西大和で習ってきましたからね。なんだってできる。

おそらく、腐るときも、挫けるときも、あると思います。いや、きっとあるでしょう。

そんな時、ちょっとここに戻ってきてみてください。少しずつ今日という日の、そのもっと前の自分を思い、感じるような気持ちになってくるはずですよ。「あー西大和かぁー……」と。これをするのは、20年後でいいですよ。

皆さんのステップアップが本物の大きな樹になって、きれいな花を咲かせる日が来ますように。

最後に。保護者の皆様に、生徒本人に代わって申し上げます。

「お父さんお母さん……これからもよろしく。」



ありがとう、11,412名

学園長

岡田 清弘

西大和学園高等学校関東同窓会が、2022年7月23日に東京日本橋ホールで開かれた。119名の卒業生が集まった。

首都圏で活躍している卒業生が1,059名（判明分のみ）。

政治家、官僚、新聞記者、医者、弁護士、会社経営者、アニメーターなど、その職種は多彩だが、皆一様に各界で大活躍している。

名刺をいただく度に、感心するしかなかった。

“霞が関”にも西大和学園の卒業生が50名ほどいて、西大和学園の会があって、定期的に集まっているらしい。

本校は1986年に開校したので、1期生は52才になった。きっと、世の中のあちこちで西大和旋風が巻き起こっているに違いない。

我々教職員がこのいろんな世界で活躍する皆さんの人生のほんの一瞬に関われること、関わられたこと、幸せだ。教師冥利に尽きる。

コロナ禍の中、今回は飲食を共にすることはできなかったが、いつか晴れた日に、酒を酌み交わし、この卒業生たちと西大和学園の思い出話を花を咲かせ、未来を語る時間を共有することを楽しみにしている。

さて、35期生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんにとってこれから、西大和学園は母校となる。卒業の日、少しだけ時間を作って、西大和学園での学校生活を振り返ってみて欲しい。そのときの感慨が、いつまでも記憶に残る。現在、社会で活躍している卒業生も、中学・高校時代の経験が少なからず今の自分を支えていると感じているはずだ。今までもそうであったように、これからも、みなさんは知力を思う存分磨いていける環境にある。

しかし、個人の限られた知識や素朴な日常感覚だけでは処理できない大きな問題に出会うことがある。そんな時、西大和学園での生活や友人の事を思い出せば良い。きっとそこからまた新しい展開が得られる。

また、同窓会に参加し、母校のことを思い出し、後輩を温かく見守る卒業生であって欲しい。

そして、近い将来、西大和学園の同窓生としてだけではなく、“育友会”の一員となっていただく事を心から願っている。今春、西大和学園の卒業生は11,412名となった。



西大和学園関東同窓会





青春の夢に忠実であれ

校長
飯田 光政

35期生の諸君。出逢ってくれてありがとう。
これだけたくさんの方がいる中で、これだけ広い世界の中で、これだけたくさんの方がいる中で、君たちとここで出逢えたのは奇跡的な確率です。君たちの大事な大事な青春にどれだけ多くの経験を一緒にできたのかと思うと、ただただ感謝です。西大和学園を選んでくれて、そして出逢ってくれてありがとう。
○「卒業」って好きでね。
「もうここでは学ぶことがありません。すべて習得しました。だから、次のステージへと進みます。」それが卒業だと思います。学び切りましたか？すべて習得できましたか？成長できましたか？
西大和学園は君たちの人生の通過点でしかありません。これからの人生を考えると、たった短い6年もしくは3年です。これからの方がきっと苦難の連続です。でも、その苦難をなんとか乗り越えるための「toughさ」を身につけ、そして「生きる力の礎」を獲得できていればと祈るばかりです。
○前を向いて走り続けてください。
振り返り、思い出に浸るのは年を取ってからで十分です。若い君たちは、青春の夢に向かって走り続けて下さい。夢を追えば、さらに新しい夢も見えてきます。おもしろさや、やりがいを持っておもいっきり走ってみて下さい。そして、ふと疲れた時、どうしてもダメになりそうな時、西大和学園に帰ってきてください。ここには君たちのことを大切に思い、一緒に君たちの人生を考えた人たちがいつでもいます。いつでも味方です。西大和学園が君たちの帰る場所のひとつになることができれば、こんなに幸せなことはありません。
でも情けないことを言いに帰ってくるのは許しません。中途半端だったり、人のせいになしたり、人生を賭けて走っていない時は帰ってくる間を惜しんで走ってください。おもいっきり走って、ぶつかって、ぐちゃぐちゃになって、潰れそうな時は、潰れる前に帰ってきてください。必ず味方のままでいます。
○大風呂敷を広げてください。
できないと決めつけしないで、諦めないでください。誰に何を言われてもにっこり笑って「できるさ！」と言い放ってください。君らは何だってできるし、何にだってなれる。できない理由を探すのでなく、言い訳や逃げ道を探すのでなく、できる方法を探し続けてください。諦めない限りいつか必ず辿り着けます。自分の指先は人を指すのでなく、必ず自らに向けてください。常に自分がどうしたいのか。どうするべきなのかを考えてください。人は変えられないけれど、自分は自分で変えられます。指先は常に自分を指してください。
○思い続ける夢は、人に笑われるくらいがちょうどいい。
大風呂敷を広げ、公言してしまえば、退路を断つことができるし、あとは実践あるのみです！途中で足を引っ張る人が出てくるかもしれない。けれど、努力し続ければ、応援してくれる人も必ず出てきます。あなたの努力が本物であればあるほど、必ず助けてくれる人、応援してくれる人が現れます。一人では遠くに行けません。いろんな人とチームを組み、助け合い遠い遠い大きな夢に向かって走ってください。我々は必ず応援しています。
出逢ってくれてありがとう。生まれてきてくれてありがとう。私もまだまだチャレンジします。君らに負けないように。卒業おめでとう。



「あと一步」

教頭
牧村 繁宏

単独行が好きだ。重いザックを背負って、独りで登山をする。独りでテントに泊まり、食事もしかり。登っている途中でしんどくなっても誰も助けてくれない。山頂に着いてもその喜びを分かち合う同行者はいない。また独りで下山を始める。
気のおけない仲間と和気藹藹と話しながら登り、また楽しく食事をしたり、星空を眺めたり。これがいわゆる「普通」の登山であろう。確かに、私の登山は「普通」ではないが、この上なく「楽しい」のである。
果たして、何が「楽しい」のか。それは、自分とじっくり向き合う時間を作ることができることである。日程を決める時から、それは始まる。仕事のスケジュールを調整するのが下手で、仕事の進め方の拙さに気づく。また、家族のことを忘れていた自分に気がついて、猛反省。いざ登り始めると、年齢・体力を過信（盲信）したコース設定に、体がついて行かない。増えすぎた体重とその元凶である乱れた食生活を痛感する。なぜ、わざわざこんなしんどい思いをしているのかと馬鹿らしくなる。このまま道で座っていたら誰かが通報して救助が来るかなと突拍子もない空想を始める。このように、自分のなさけない面ばかりが見えてくることに嫌気が差しながらも、歩み続ける。時には、「ここまで登ったからもういいや、誰も見ていないし。そろそろ下山するか」と逃げ出したり、弱気な思いがふと頭によぎる。「今ここで、下山したら楽だぞ」と頭の中でもうひとりの自分つぶやく。
そんな時にいつも口にするようにしているのが「あと一步だけ登ってみてから考えよう」である。もし「あと一步」も踏み出せないなら、それは体力の限界。しかしながら、ほとんどが気持ちの問題である。「できない」のではなく、「したくない」「もうやめたい」ことが多い。「あと一步」を続けると、知らぬ間に登頂していることが多い。
山頂に着くと、これまでのしんどさや情けなさを忘れて、独りで悦に入っている。そして下山し終えて家に着くと、なぜか誇らしい気持ちになって、次の計画を立て始めている。三日坊主になると分かっているながら、トレーニングを始めている自分がある。これらを含めた全部が「楽しい」のである。この「楽しさ」がわかっていただけたであろうか。
毎年、卒業生に贈る言葉はこの「あと一步」にしている。思っている以上に自分は「弱い」し、また同時に「強い」。「あと一步」だけ進んでから決断して欲しい。



長生きしてください。

中部高3学年部長
佐々木 淳也

3年前の中学卒業（卒業式はできませんでしたが）に際して贈る言葉には、君たちと出会うまでの私の道程と、出会ってから3年間で注入してきた想いを綴っていました。「多くの人に愛される学年にしたい」という所信演説で6年前にこの学年をスタートさせましたので、私が生きてきて得たすべてを君たちに伝え、説教じみた形でたくさんの「こうすべき」を話してきたわけです。挨拶のことも、人の話を聞く姿勢も、掃除の大切さも。高校生になってからは、行儀よく真面目なだけでなく、何事にもチャレンジしてみることも、何事も気持ちの持ち様だから前向きに日々をすごすこと、強い心を持つこと……多くの人に愛される学年になれば、きっと卒業した後の長い人生においてもたくさんの人に愛されて、順調なときも逆境にいるときもたくさんの人を支え支えられ、そんな豊かな人生を送ることができるだろう、そう願って信じて、6年間たくさんのことを伝えたつもりです。

もう話すことはできないので、ここで最後に教訓じみた新しい何かを君たちに残すべきか、いや6年間行事や学年集会のたびに話してきた私が大切だと考えていることを再掲し、忘れないようにしてもらおうか、そうしたらこの紙面を100ページくらいもわからないと…そんなことを思い巡らせた結論として、君たちに最後に本当に伝えたいのは、

長生きしてほしい
ただそれだけです。順風満帆でいつも幸せいっぱいであっても、理想的な生き方ができなくても、どこにいたって名前が聞こえてくるような派手な人生であっても、地味で堅実に生きていても、どんな生き方であっても良いから、長生きしてほしい。この6年間でたくさん話したことを1つでも体現して、「○○○○のように」長生きしてほしいって付けたいけれど、もうわざわざ言わなくても、君たちならやってくれる。君たちとの6年間を信じているから。

心も体も元気でいてくださいね。どんなに上手いかわないことがあっても大丈夫、たくさんの人が助けてくれます。近くにはいなかったって少なくとも私はこの6年間と同様、応援し続けています。そうすることが君たちへの恩返しで、こんなに素敵な6年間を過ごさせてくれてありがとう。この6年間を胸に、私も長生きできそうです。

35期中部保護者の皆様には、いたらない学年部長に6年間もの長きにわたり温かい言葉をたくさんいただき、学年運営を支えていただきました。この学年の学年部長であることができ幸せでした。本当にありがとうございました。

では、ご卒業おめでとうございます。長生きしてくださいね。



あれか、これか

高校3年1組担任
塩見 裕亮

キルケゴールは、「私にとって真理であるような真理」を大切にしました。「あれも、これも」統一する弁証法を批判し、「あれか、これか」を主体的に選び取ることが彼の生き方だったようです。

これから先君たちが生きる世界は、「あれか、これか」の選択の連続です。国立大学を1校しか受験できなかったように、基本的に就職も厳選した1社でしか働けないし、結婚したいと思う人は、パートナーを1人しか選べません。彼は、そんな選択の連続する人生をよりよく生きるために、自分という全存在をかけた情熱的な決断により行い、1つの行動を選択することを説きました。

人間は往々にして、「選ばなかった方」を想像し、「選ばなかった」こと後悔します。なんで想像するんでしょうね。情熱的な決断をすれば、「選んだ方」に自信を持ち、生き生きと日々を謳歌することができるのには。では、どうすれば「選ばなかった方」に思いを巡らせずに済むことができるのか、悩めるあなたにとっておきの方法を教えてあげましょう。

自分に自信をもつこと。

自分は素晴らしい人間なんだと思込むこと。

自分以上に魅力的な人間はいるわけがないと暗示をかけること。

これだけです。

この3つを意識する。すると、他人を気にすることもなくなるし、確実に生きやすくなります。実証済みです。塩見がこの境地に達した詳しい背景を知りたいみなさんは、20歳になったら聞いてください。お酒片手に語ります。



一歩ずつ前進

高校3年2組担任
譜久村 俊二

35期の皆様、卒業おめでとうございます。

高校2年生のタイミングで学年部の仲間に入れていただきました。そこからあつという間の2年間でした。よく頑張ってくれてくれたことに感謝します。

新たなスタートをきる皆さんは、これから色々なことに挑戦していくことになると思います。失敗を恐れず、積極的な姿勢での挑戦を期待したいです。もちろん、すべてがうまくいくということは少ないでしょう。なかなかうまくいかないことも出てくると思いますが、まず目の前で対処できることから少しずつ取り組んでいこうにしましょう。まずは1歩、先に進むということです。

新しいステージでは、自分のやりたいこと探しを全力で取り組みましょう。高校生活の中では見ることはできなかった世界が広がることでしょから、考える機会も多くなるはずなんです。高校生活の中で培った「周囲を観察する力」「協力して成し遂げる力」「他者を大切にする力」などたくさんの力をフル活用して、自分自身の人生を切り拓いていってください。そして、自分自身が納得のいく選択を、自分の意思で決定していきましょう。そうすれば道は拓けます。

これからも新しく結ぶことができたこの「縁」を大事にしていきたいと思います。よろしくお祈りします。



地図よりも羅針盤を 持とう

高校3年3組担任
三島 奈々

「時代ガチャ外れ」。こんな言葉が話題になりました。景気後退、新型コロナウイルス蔓延など近年の日本の情勢を批判し、時代さえ異なれば、幸せな生活が送れたらという思いを込めた言葉です。しかし、みなさんはこの言葉に惑わされず、「地図よりも羅針盤」を持って強く生きてほしいと思います。何か目的地を目指す時には、地図も羅針盤も進むべき方向を決定するのに有効と言えます。ただし、誰かがはるか昔作った地図が、現在も正しく有効な情報を、あなたに提供してくれているとは限らないのです。みなさんの今までの人生は、ある程度決められた目的地に向かって、地図を持ちながら進めば良かったのかもしれませんが、これから先の人生の歩み方は、今までと異なるものになるのではないのでしょうか。変化が激しく次に何が起きるか分からない状況、共通の理想を描き実現するのが難しい社会。そんな時代だからこそ、自分の目指すべき目的地を決定し、迷わないための、自分の生きがいを指し示すための、羅針盤が必要なのです。

これから羅針盤を持って広い大海原へ船出するみなさんへ。願わくは、西大和学園で過ごした日々が、出会った人たちが、ささやかであってもかけがえのない実感が、これからのみなさんの航路を照らす光となりますように。そしてこれから出会う大切な人たちのために、その羅針盤を使ってくださいね。ご卒業おめでとうございます。



希望をもって 楽しく生きる

高校3年3組担任
岡 亮治

最近の高校生を見ていて複雑な思いを抱くことがある。それは「人生、守りに入っているのでは？」ということ。

ひょっとすると、世の中の空気を敏感に感じ取り無意識のうちに同調しているのかもしれない。または、大人たちから「傷つかないよう生きなさい」と言われているのかもしれない。それとも「傷つくことを恐れている」のかもしれない。自分のことを過小評価しているのかもしれない。確かに、目標をもち一生懸命に頑張って誠実に努力した結果、「それでもダメだった」ということになったときのショックは計り知れないものだろう。しかし、長年の努力や成長などが認められて「できた！」という成果を得られたときの「嬉しさ」は、言葉では言い表せない程のものがあるだろう。また、そのときの結果がよくなかったとしても「チャレンジした」ことで「吹っ切れる・納得して次に進める」こともあるのではないだろうか。そして努力したことや成長したことやその経験は、未来の自分への投資になっているのではないだろうか。人生、安全第一で無難に生きることがいいと思うのか、山あり谷ありでもいいから何かに挑み続けて生きることがいいと思うのかは個人個人の価値観により異なると思うが、どちらが「希望をもって」「楽しく」生きることができるのか、ということを大切に考えてみてはどうだろうか。人生一度きりなのだから、後になって「あれをやっておけばよかった、これをしておけばよかった…」と晩年になって後悔したくないと思う。だから大切なことは思い切りチャレンジしてほしい。決して「無傷で生きるバリアを張ってたってこと」に気づかずに過ぎてほしくない。「そんなものもう必要ない」と気づいてほしい。これが私の願いです。



「明日へ、ゆけ」

学年主任・高校3年4組担任
上田 貴志

§39. Appreciation in 6 years 幸福度：★★★★☆ #farewell #welfare #語源は同じ「よき旅を」

たった三杯のコーヒーで鬱になるリンカーンなんかより、よっぽどマクドナルドの売り上げに貢献してきた自負がある。「なんとかしたかった」んです。「なんとかなった」かは、分かんけど。

本能的欲望の力は、不可能を可能にする。欲望を押さえ込むのはしんどい。努力は大事やけど、我慢は続かない。自分の欲望の向く先に、他人の幸せがあれば、最高やね。でも、全員に好かれる必要なんてない。「いいやつ」が多い学年なので、少し心配。この文章のように、「分かん人には分かん」でいい。自分に、欲に、正直に。まずは自分が幸せになろうや。感謝するのは、そのあとでしょ。続きは恥ずかしいので、英語で書きます。

Anyway, I'm so sorry for this and that. I know I've been a hot potato. I know my words are not appetizing enough. I just want you to accept my gratitude for you giving me nugget of memory. The days we spent together, both the sour and the sugary, will be remembered in my mind for the rest of my life. You are the "primal" students and you've already been all registered in my heart and soul. This means that I was, I am and I will be, the most blessed one on earth, and I have no words to express my appreciation for that.

The smell of spring is telling me it's time to say farewell. Live the life you love. Love the life you live.

There is nothing on a plate, but I swear you can.

I'm loving it.

The one made by YOU



『孤独を楽しめ』

高校3年5組担任
三上 剛

今日、君たちは西大和学園を卒業し、そして大学に進学します。

そこで君たちに問いたい。大学生活とは人生においてどんな意味を持つのか。大学での青春とは何なのか。君達を待つ大学での時間とはどういう時間なのか。

大学生活の本質は「孤独を直視する自由」を得ることです。静かな雪原の真真中に独り立ち、シンシンと降り積もる雪の中、自分の夢は何であるか、自分とは何であるかを空に向かって問う。それが青春です。大学生活が持つ豊かさをその手中に収めてください。流れに任せて、時間の空費にうつつを抜かしてはいけません。大学生活こそが人生で一番豊かな時間なのです。

とことん孤独と対峙し、夢を実現させるための固有の方法論を必死に探す姿勢から、その人の価値が生まれます。自分を信じて夢を追い続けることこそが未来なのです。

他人に流されず、自分に正直に堂々とまっすぐに生きてください。貧しさは敵ではありません。自分の人生を他人に任せたり、思い出に埋没したりする暇は君たちにはないのです。

さあ、前を向いて、夢に震え、未来を信じて勇み立つときです。孤独に耐えうる強い情熱を胸に抱いて、高校生活から卒業して下さい。卒業おめでとう。



「今日も一日、 ありがとう。」

高校3年1組副担任
榎 隆 暉

今の幸福度を100点満点で採点するとしたら、何点かな。100点以下のみんな、どうしたらもっと点数上がるかな。ただし、気をつけてほしいことがあって、「今よりも良くなりたい」って思ったとき、例えば、今が80点ならば、残りの20点だけに意識が向いてる。そうなってへんかな？ 考えてほしいのは、79点以下のとき。それはつまり、今よりも幸せでないと感じていた時のこと。まずは、自分を知ってほしい。それがすべての始まりですべてやと思う。

「明日、来週、来月、来年の今頃、自分は何点取れるかな」って思うかもしやん。けれど、そもそも明日、心身ともに健康である保証はどこにあるのかな。考えられる今があるから、未来がある。今を大切にしてほしい。

「この世界はなんて残酷なんだ」って思うときがくるかもしやん。でも、【世界の意味=ことばそのもの×捉え方(=心と視点)】やで。どんな素敵な出来事も、そんなときの心が重く沈んでたら、ほんまに退屈になる。

同じ一日は二度と来ない。泣いて一日、笑って一日、どうせ過ごすのなら、笑って過ごす人生を歩みたい。だからこそ、毎日感じてたし、みんなに伝えてきたことやった。今日も一日、ほんまにありがとう。



ライフイズ ビューティフル

高校3年2組副担任
井 上 凌

ご卒業おめでとうございます。

西大和学園で過ごした日々は楽しかったですか？ やり切りましたか？

暑い日も寒い日も雨の日も、毎日学校に通って今までたくさんのいろんな経験をしてきた35期の皆さん。少しの頑張りでも乗り越えられる壁や、時間をかけて根気強くやれば乗り越えられる壁、友と協力したら乗り越えられる壁など様々な壁を乗り越えてきたと思います。その越えてきた壁を、自分を守る盾として自信を持って新たな道へ進んでください。

これから大事ななのは「人と信頼」です。人を大切にして信頼関係を築きあげること。その為には、挨拶や礼儀、日常の些細なことに気付くことができる人、困った時は手を借り、時には手を貸す事ができる人、自分の信念を貫いている人など本当にいろんな要素があると思います。今までお世話になった人や、また新たな場所で出会う人に対して「人と信頼」に欠かせない要素を積み上げて「人」を大事にしていってほしい。そして周りで支えてくれている人達や、当たり前への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。これから期待できる35期皆さんの人生をもっと美しくしていきましょう！



あっという間の1年間

高校3年4組副担任
村 本 吉 崇

35期のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今年度から初めてみなさんを担当するというところで、今だから言えますが、私自身はけっこうな不安がありました。

「本当に自分で務まるのだろうか。」

でもそういう気持ちがあったからこそ、私自身この1年間は「みんなと一緒に走っていく」と決め、もはや「一緒に成長するぞ」くらいの気持ちで、毎日必死になって過ごしたつもりです。それが私の役割なんだと思って。

だから、せめて私の熱量が少しでもみんなに伝われば、せめてちょっとでも数学のモチベーションに繋がってもらえれば。みんなよりも少しだけ年を重ねている、みんなよりもわずかに数学ができる、みんなよりもちょっとだけ客観的に見える、そんな存在でいいから、少しでもみんなにプラスになれる存在になろう。そう思い接してきたつもりです。

私自身、あっという間の1年でした。みなさんはどうでしたか？

この1年間、辛いこともあっただろうけど、勉強ばかりで大変だっただろうけど、でも少なからず充実してたんじゃないですか？ 楽しいこと、悔しいこと、辛いこと色々あったでしょう。ただこの高校3年生として過ごしたラスト1年間は大人になって実感しているようなある意味一生の思い出ですよ。

でもだからこそ、この1年を過ごした次の1年間、そして10年後20年後のあなたの人生はそれに負けないようなものにして下さい。各自、それぞれの目標に向かって進んでいくんです。いつまでも応援していますよ。



集まり散じて

高校3年5組副担任
川 辺 陽 介

ご卒業おめでとうございます。

六年の時を経て、西大和学園はあなたの母校となりました。言うなれば故郷が一つ増えたようなものです。ふるさは遠きにありて思ふもの——ではないですが、これから皆さんはこの六年のことを折に触れ思い出してください。

それはバスの中で勉強している高校生の姿を見たときかもしれませんし、寒い夜に坂道を下っていくときかもしれませんし、棚の中からいつのものか解らないザラ紙のプリントが出てきたときだったりするかもしれません。

そのとき皆さんは、十八歳の時、確かに西大和学園にいたのだと実感するでしょう。

なにも感じていなかった平凡な毎日の繰り返し、まがいなくかけがえないものであったと気付くのは、そんな折であるに違いありません。

こういったことは、遠くに行っても思い出さなければ解らないものです。

皆さんはこれから旅立ちます。そして多くの方は西大和学園から遠く離れていきます。人間は何かから離れれば離れるほど、それを近い存在に感じる性質があるようです。母校を思う気持ちは、大概、離れて初めて生じるものです。恩師であれ、友人であれ、離れてこそ、離れたいものとなるのです。そんなわけで、我々はこの卒業という契機から真の仲間となるのだと思います。

またいずれかの折にお会いしましょう。その時、仲間同士、お互いの人生を称え合ひましょう。それまで、どうかお元気で。



Good luck on your
Another Step!

高等部高3学年部長
平山 巧

35期のみなさん、卒業おめでとうございます。

高等部の君たちは入学式からあつという間の3年間でしたね。3年前の4月7日、Zoomにじわじわと現れてきた君たちの姿(テキスト情報ですが)が今でも鮮明に記憶に残っています。オンラインで様々な交流をしていたため、6月に延期になった入学式で初めてオフラインで出会ってもあまり初対面という意識が湧かなかったことも印象的です。

コロナ世代。貴重なステータスにしていきたい。君たちの入学のタイミングから、ありとあらゆる社会での活動がコロナによってアレンジされ、最適化の一途をたどっています。直接顔を合わさなければ温度感を伝えられない、コミュニケーションが円滑に進まないなどの弊害は私たち教員や君たちよりも上の世代の問題であり、今後はますますメタバースが世界的に進んでいくことでしょう。その新たな時代の先駆者になる世代が君たちコロナ世代です。この3年間で感じた不自由、不遇、理不尽さ、その経験を武器としてこれからの世の中を変えていってほしいと思います。

西大和に在籍しているこの3年間、高等部の君たちは走りっぱなしだったことでしょう。学業で忙しい中を縫って部活動・特別活動に勤しみ、友人と交流してきましたね。新型コロナウイルス対策と相まって、本当にドタバタと駆け抜けた高校生活だったのではないのでしょうか。前期試験を終えたばかりの今はなんやかんや色々な感情が織り交ざっている状態かもしれません。けれどもあと半年、1年経ってからふと高校生活の3年間の思い出してみてください。いかに日常こそが至高であったか。長い人生において常に何かしらの輝きを放つ、絶対的なものがそこにはあるはず。青春とはそういうものです。これから先何かに挑戦する際、1歩を踏み出そうとする際、この3年間の君たちの原風景となってくれればと願います。

“Step by step. I can't see any other way of accomplishing anything.”

バスケットボールの神様、マイケルジョーダンの言葉です。

「受験なんて長い人生において全然大したことじゃない。」ことあるごとに言い続けてきたと思います。必ずや今後の人生で他者に影響を与える大きなことを成し遂げる機会が幾度となく生じることでしょう。物事を達成するための戦略立てはこの西大和で学べたと思います。恐れず、焦らず、前だけ向いて1歩1歩進み続けてください。必ず光あるところに辿り着きます。君たちの次の1歩にサチアレ。

さようなら。



「課題は
提出しましょう。」

高校3年A組担任
吉田 翔

皆さんと三年間を過ごし、この三年間の間を、人生を設計する上で下書きみたいな期間だという風にとらえ始めていました。

将来はこうして生きていきたい、でもあでもなし、こうでもなし…と日々将来を案じ、時には後戻りして反省をしたり、それでも前進を試みたりしている姿はまるで、絵を描く前に鉛筆でキャンパスに下書きをしているように映っていました。こんな風に生きていきたいと思えるような、理想の線画は、完成しましたか?卒業していく皆さんはきっと、その理想の線画を胸に抱いて、これからどんな色を塗っていくかと、わくわくして止まらないの दौरानと思います。きっと受験の経験は、最初の1色になる事でしょう。

ここから先の人生、その下書きの内容が変わることがあったり、変えざるを得なくなることも多いのは事実ですが、そこも含めて、完成の感動はきっとひとしおです。

私からのお願いは一つです。完成させたその絵を、私に見せてください。私も、私自身の持っている未完成の絵を完成させながら、待っています。

提出状況で常に遅れをとっていた3年A組の皆さん。この最後の課題くらい、全員提出してくださいね。

卒業おめでとう。またね。



「巨人」になれ。

高校3年B組担任
葎野 瑞生

「巨人の肩の上」って知っていますか?

「巨人」は先人の学問などの成果を擬人化したもので、今の我々は先人の成果によって立っている、という理解で概ね間違いないかと。

この言葉によると、授業で伝えたことは僕の手柄じゃなく「巨人の肩」に立っていただけ。歴史学の最前線とか偉そうに語ったけど、本来もっと謙虚にする必要があったね。(笑)

みんなに伝えたいのは、僕は「巨人の肩」に立たせてもらっているということ。平和な日本も物質的に豊かな生活も、全部僕ら平成生まれがつくったものじゃない。

なんでこんな文章を書いたのか?それは、君らの多くが大学に進むから。「大学でなぜ学ぶのか」って問いには、「夢」とか「何となく」とかいろんな答えがあるんだろう。だけど僕は、大学に進む全員に「巨人」になる使命があると思っている。知性への軽薄な敬意しかない現状では、次世代の縁たる「巨人の肩」がなくなってしまう。

だから、僕も「巨人」を目指すから、若いみんなも「巨人」になれ。

卒業おめでとう。そして、出会ってくれてありがとう。元気で、ちゃんと長生きするんよ!

※大阪に近い学校で「巨人」って連発すると怒られますね。ご海容を。



Challenge × Cover

学年主任・高校3年C組担任

畑 裕 介

挑戦なくして、成長はなし。安心できる環境のコンフォートゾーンから一歩踏み出しストレッチゾーンにいるときに、いい失敗をたくさんして多くのことを学ぶ。気づけばそこが新たなコンフォートゾーンとなり、人は大きくなっていくのだと思います。成長のために大切なことが2つ、ストレッチゾーンに勇気をもって一歩踏み出すこと、はじめは怖いと感じることが当然で失敗を恐れないこと。そしてもう1つが、帰ってくるコンフォートゾーンがあること。一歩踏み出すことができるのは軸足の足場がしっかりしているから。

これからたくさんさんの経験をしていくみんなには、いろんなところで本当のリーダーシップを発揮してほしいと思います。単に偉そうに振る舞うだけの「リーダー」ではなく、人に支えられ、人から信頼される人に。

本当の「LEADERSHIP」

L ooks	容姿端正にして他者に不快の情を与えることの無い人であれ
E mpathy	温かい人、打てば響く人であれ
A cceptance	相手のあるがままを受け入れる、寛容な人であれ
D irectiveness	旗印を高く掲げ、行き先を明示する人であれ
E ncouragement	人のいいところを発見し、褒める人であれ
R esponsibility	いざという時に責任のとれる人であれ
S ecurity	泰然自若、春風をもって人に接する人であれ
H olism	一局面でなく、大局を観察把握できる人であれ
I dentity	「自分らしさ」を大切にできる人であれ
P ower	ここぞという時に「力」を発揮できる人であれ

何かあったら帰っておいで。卒業おめでとう。そして、ほんとうにありがとう。



贈りもの

高校3年D組担任

小 西 雅 也

プレゼントは、自分がもらって嬉しいものを贈ると決めています。授業、面談、クラスへの声掛けも全部、自分の思うようにしてきました。「テストの点数で競っても仕方がないよ！自分が学べたかが大切なんだよ。」「ゆっくり休むのよ！」最初の頃はみんな戸惑ってたなあ。今はすっかり、小西ナイズされて受け止めてくれるようになりましたね。僕の声掛けは、社会人となった自分への声掛けでもありました。やりたいことがあっても、ほっと一息つく時間や、何が大事か考える（そりゃ、うちの子らやなって再確認する）時間が、自分を前に進める原動力になりました。

11月のある夕方、生徒がそっと近づいてきて「友達が試験を受けて落ち込んでいるから、面談してあげてほしい。頑張ってきたんだから諦めるのは勿体無いと思うんです。」って言ってくれました。嬉しかったなあ。大袈裟だけど、日本の将来は大丈夫だと思いましたよ。人を想う心って、そう簡単に育ちません。思いやりの心が育っていることが、僕にとってうれしい贈り物でした。優しいみんなに支えてもらった2年間、これからも大切にします。ありがとうね。



「大器は晩成す」

高校3年B組副担任

森 山 貴 公

皆さん、卒業おめでとうございます。

「大器晩成」という諺は、「大きな器は、ちょっとやそっとでは作れず、普通の物より遅れて出来上がる」という意からきていることはご存知でしょう。

皆さんは将に大器です。焦らずじっくりと人間形成をしていきましょう。そこで皆さんに孔子の言葉を贈ります。

「君子に九思あり。視るは明（めい）を思ひ、聴くは聰（そう）を思ひ、色は温を思ひ、貌は恭を思ひ、言は忠を思ひ、疑はしきは問ふを思ひ、忿（いか）りにては難を思ひ、得るを見ては義を思ふ。」

「君子」となるための心がけ九箇条

- 一、視覚においては明敏であること
- 一、聴覚においては鋭敏であること
- 一、表情においては温か味があること
- 一、態度においては誠実であること
- 一、発言においては忠実であること
- 一、行動においては慎重であること
- 一、疑問に接しては探求心を持つこと
- 一、感情に駆られて迷惑をかけぬこと
- 一、利に直面して義も忘れぬこと

故きを温ねて新しきを知る。

次代を担う「君子」になってください。



Another Step

高校3年C組副担任

水 町 賢 宣

35期のみなさま、ご卒業おめでとうございます。

3年間、もしくは、6年間、頑張りましたね。

卒業へのメッセージとして、大学入学後に力を入れてほしいことをお話しします。

みんなが必死に頑張った大学入試では、高得点をとることが大切でした。しかし、会社への入社試験では別のものが大切になります。

それは、あなたという人物。あなたが「一緒に働きたくなる人物」であるかどうかです。

Googleなどの会社では、第一次試験の時に、難しい問題をパスしなければなりません。しかし、その後の複数回の面接試験では、「チームメンバーとして、一緒に働きたいかどうか」でふるいにかけられます。そこには、「素直である」「期限を守る」「仕事を投げださない」「視野が広くて、面白い発想をしそう」などの要素が入るでしょう。

大学生になってからは、勉学に力を入れながらも、恋愛、海外旅行、部活、アルバイトなどを通じて、「一緒に仕事をしたいようになるような人物」に成長してください。勉強ばかりで、つまらない人物になることには、注意を！

あつつ、一つ、お願いがありました。

将来、自分の専門分野を究めて、日本経済の復活！のために、大活躍してください。



美しい人生

高校3年寮担任・高校3年D組副担任

三ヶ田 信介

ご卒業おめでとうございます。「会うは別れの始め」という言葉がありますが、皆さんとお会いしたその瞬間から、「後悔することなく接していこう。」という思いがありました。この先の人生で少しでもこの2年間に役に立つように接してきたつもりです。ここで少しだけ昔話。私は大学に入って、学問に挫折しました。「ときめき」が薄れてしまったのです。苦労しました。本を読んでも教授や友人と話してもなぜか、「ときめき」が戻ってこないのです。私はいったん教員になることをやめ、企業に就職しました。そこで待っていたのは、他の社員との激しい競争です。毎日深夜までどうすれば、自分の営業成績を上げられるか考え続けました。この頃の自分は人間関係をないがしろにしていたと今でも反省しています。結果的に営業成績はトップになり、表彰される機会も増えました。このまま会社で頑張ろうと考えていた時、どういうわけか学問への「ときめき」が戻ってきたのです。今思うと、会社から学問を見ると新しい見方や考え方ができることに自然と気が付いたのだと思います。そこから教員としての人生が始まりました。これから皆さんが直面する困難も、すぐには解決しないものかもしれませんが、でもその時間、泥臭くあがいてみましょう。汚れ一つないスマートな人生より、どんなに辛くても苦しくても見苦しくてもはい上がる人生こそ美しい。私も毎日大袈裟ではなく命がけで授業していきます。何かあったらいつでも戻ってきて下さい。



やりたいことは即行動

高等部高校3年学年係

佐々木 喜巨

35期のみなさん、ご卒業おめでとうございます。たった1年間で私が私はみなさんと過ごせてとっても楽しかったです。みなさんは高校生活いかがでしたか？楽しかったことや苦しかったことなど、さまざまな思い出があるでしょうね。その思い出一つ一つを大切にしてください。いつか仲間と笑いながらその話をできる日が来るはずですよ。

さて、西大和学園から卒業していくみなさんに、人生の少し先輩である私から伝えたいことがあります。それは「やりたいことは即行動」です。これから広い世界に飛び込んでいくみなさんは様々なことに興味を持っていくことだと思います。そんな中でよく思うことは「やってみたいな、でも…」です。そんなこと考えなくていい。考える暇があったら行動して経験してみればいい。新たな感染症の大流行のようなことがまた起これば行動しづらくなります。行動できるときに行動しておかなければ、何か予想外のことが起きてしまえばいくら計画しても無意味になってしまいます。なら即行動するしかないでしょう。とりあえず経験してみればいい。失敗してもいい。みなさんなら大丈夫です。

あとお願いを一つ、カッコいい大人になってください。どのようなかは言いません、自分の考えるカッコいい大人に。私も頑張ります。お互いカッコいい大人になってまた会いましょう。楽しみにしています。



西大和学園中学校 33期生の君たちに

中学3年学年部長
筆保尚純

ご卒業おめでとうございます。3年前、不安そうな顔をして体育館に座っていた君たちがもう中学を卒業するのかと思うと、あらためて月日の流れの早さを感じさせられます。この3年間、様々な行事や多くの人との交流を通して、心身共に立派に成長してくれました。人生においてもとりわけ大きく成長していく中学3年間に共に過ごせたことを嬉しく思います。

4月からいよいよ高校生になりますが、君たちはどんな高校生活を送ろうと考えていますか。西大和学園での高校生活は今までは一味も二味も違う厳しくも楽しいものになります。その醍醐味を十二分に味わってもらうために君たちに期待するのは、様々な取り組みに積極的に参加してほしいということです。どんな取り組みでも受け身では思うような成果を得ることはできませんし、そもそも自分で手を挙げて行動しないと参加することができないような取り組みも増えてきます。学校生活の中に自分を成長させるチャンスはたくさんあります。そこに自分の意志で飛び込んでいく、そんな高校生になってくれることを期待しています。

新しいことにチャレンジするときには不安はつきものだし、今まで経験したことのないような困難もあるとおもいます。そんな時こそ「明るく 楽しく 元氣よく」の気持ちで向き合ってください。中学3年間も決して平坦な道ではありませんでしたが、そんな中でも君たちは笑顔を忘れず頑張ってくれました。今後の人生も楽しいことばかりではないと思いますが、君たちなら大丈夫だと確信しています。それでも自分一人だけではどうしようもないときは、仲間と一緒に向き合うことも必要です。そんな一生ものの仲間も、高校生活の中で見つけてくれればと思います。目の前の状況をどのようにとらえてどのように行動するかは、すべて自分の意志に任せられています。今までを振り返って出来たか出来なかったかではなく、どのような人間になりたいのかをイメージして様々なことに挑戦し、ぜひ最高の高校生活にしてください。

4月、新たな決意と今までサポートしてくれた家族への感謝の気持ちを胸に、入学式に参加してくれる君たちと会うのを楽しみにしています。



成りたい自分に

中学3年1組担任
羽迫和哉

誰もこうありたいという人間像をもっています。それがなくとも、こうはなりたくないという人間像が結果として自分の人間像を形成することもあります。そんな理想像を今年度1年「成りたい自分」と表現してきました。ただなんとなくになるのではなく、成り上がること。意図した成長を確かに自覚しながら、高校生に成ってほしいとお話してきたつもりです。

中学生活で何を心得、何ができるようになり、どんな成長を遂げましたか。

中学課程を本当に修了し、卒業できますか。

明日から、あなたは高校生に成れますか。

中高一貫校において、環境も大きく変化する事のないこの中学卒業式は何を意味するのでしょうか。中学生から高校生に肩書きが変化するのはどういう意味を持つのでしょうか。自分で考え、結論を出すことで初めて意味をもつのではないかと考えます。つまり、この卒業に付加価値をもたらすのは君たち次第だということです。自分で考え、たどり着いたその意味こそ、成りたい高校生の一歩目となることでしょう。一歩進めましたら、私の言葉を受け取ってください。卒業おめでとうございます。



君たちは成長した

中学3年2組担任
高市佳尚

入学して三年、もう中学卒業と考えると早いものですね。振り返ってみると、この三年間で君たちは本当に成長しました。身長は高くなり、体重も増えました。難しい問題も解けるようになり、英語も話せるようになりました。入学当初は、なかなか他の人のために行動できる人はいなかったと思います。でも今はどうでしょうか。朝に配布プリントが置いてあれば、配ってくれます。欠席したら友達に分までノートやプリントを取ってくれたり、手伝ってという先生の言葉より先に、僕がやります！と声をかけてくれる生徒もいます。そんな、さりげない素敵な行動力を持った生徒がこの学年には沢山います。誰かのために動くことができること。学力面での成長も、もちろん大切ですが、これからも他の人を思う気持ちは忘れずに大切にしていってほしいと思います。自分の行動が誰かの役に立っていると実感できたとき、とてもやりがいを感じられるようになります。中学を卒業し、次のステージの高校生活ではきっとたくさんのやりがいを感じられるチャンスがあるはず。確かに君たちは成長しましたが、ここにさらに感謝を付け加えれば、もう一段階先に行けるはずです。将来、もっと成長して、周りの人を、そしてたくさんの人を幸せに大切にしていける、そんなリーダーになっていることを期待しています。



「できた」か？

中学3年3組担任
大船 稀也

「卒業おめでとうございます」
このメッセージ、自分に直接関わってきた生徒に初めて使いました。僕と一緒に西大和学園に入った君たちは、入学当初は僕より余裕でお子ちゃんだったけど、みるみるうちに身長は抜かされ、心も大きく成長してくれましたね。そんな3年間でしが思い返してみてください。楽しいことが「できた」か？
今までにない新しい経験が「できた」か？
味わったことのない悔しさを味わうことが「できた」か？・・・
西大和学園という私立の学校に通っている意味を考えてみてください。他ではできない経験やチャンスがたくさんあると思います。どれだけ味わい尽くせるかが大切ですよ。
中学を卒業するとは、そんなことを考えることが「できる」良い機会かと思えます。中学ではやりきれなかった経験や成長を、ぜひ高校という違ったステージでやりきってください。当然そこには苦い経験もやってくると思います。それもまたチャンス。

「夜の踊り子」 サカナクション
行けるよ 行けるよ 速くへ行こうとする
イメージしよう イメージしよう 自分が思うほうへ
雨になって何分か後に行く
今泣いて何分か後に行く
今泣いて何分か後の自分
今泣いて何分か後に言う
今泣いて何分か後の自分
笑っていたいだらう

今、行動を起こすべきなのに逃げてしまったり、何かを失ったりするなど様々な苦い経験を経て、最後は笑っている自分を目標として「前向き」に進もうとする気持ちを表しています。うん、応援していますよ。



「やっと花道歩けるね」

中学3年4組担任
寺野 麻也

卒業おめでとう。今思えば、入学式では花道を歩くことがなく、入学してからも行事は通常の規模で開催することができず、本当の意味で西大和学園を知らないまま過ごすことが多かったですね。(新しい西大和学園と一緒に作ったとも言えますが)その中でみんなと一緒にできることを考えてきました。

一緒に考え、徐々に通常の西大和に戻っていく中で何を学び、何を吸収できましたか？

人の成長に環境は大きく影響すると思いますが、その環境は常に用意されていません。私は、自分を取り巻く環境は自分の言動で作られるものだと思っています。

いつも明るく過ごしましょう。自分の周りの環境に感謝しましょう。謙虚に過ごしましょう。

小学生から言われていることかもしれませんが、大人になってもこのように過ごすことは難しいものです。私自身、難しいと思う瞬間があります。しかし、先ほども書きましたが、周囲の環境は自分が自然と作ってしまうものです。良くも悪くも。どうせなら、自分が楽しく過ごせる環境を意識して作ってみたいですね。

いよいよ高校生になります。残り3年間で何を学び、何を吸収するのでしょうか？

これからもBrush upして輝き続けてください。いつもありがとう。



「感謝」の気持ちを
忘れずに

学年主任・中学3年5組担任
芦田 隆

38期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。義務教育の課程を修了し、いよいよ4月からは高等学校へ進むこととなりますが、西大和学園での中学校生活は如何だったでしょうか。コロナ禍でオンライン授業から始まり、行事も遠足くらいしか行えなかった中1。体育祭や文化祭が復活したものの、まだまだコロナの影響に左右された中2。宿泊行事を含めて、ようやく通常の西大和学園での生活に戻った中3。入学前に思い描いていた中学生活と違うことも多かったことでしょう。

色々な思いがよぎる3年間だったと思いますが、いずれにしても周りの人たちの助けがなければ、皆さんが今日まで学校生活を過ごすことは出来なかったはず。このような節目の時にこそ「素直さ」「謙虚さ」「誠実さ」を大切にしたいですし、皆さんもまずはお世話になっている身近な方々に「感謝」の気持ちを伝えてください。その上で来る高校生活に向けて新たな希望を抱いてほしいと願っています。先生も皆さんに出会えたことに「感謝」をしたいと思えます。



可能性は無量大。

中学3年寮担任
右働 滝紅美

これまで3年間、一生懸命に走ってきた西大和学園での青春マラソンも、まもなく復路を迎えようとしています。ここまで、どんなレース展開でしたか。

追いかけられる展開であった人、追いかける展開であった人、立ち位置はそれぞれですが、往路を走り終わったばかりのキミたちには、良くも悪くも、復路が残っています。

復路にも、きっといろいろな出来事が待っています。追い抜かれてしまう可能性もあれば、追い越せる可能性だってあること、気づいているでしょうか。

ここから先、「先頭集団に追いつきたい」と考える(思う)だけでは、先頭集団には追いつけません。かといって、「先頭集団だから」と一休みしたら、あつという間に詰められ、追い抜かれてしまうでしょう。

さあ、復路の号砲(スタート)は、もう目の前です。スタートしたら、ただただ走って、エネルギーを消費して、疲労困憊にならぬよう、しっかりと作戦を練って、復路に挑んでください。みなさんの復路、応援しています。

中学校卒業おめでとう。また会える日まで、お元気で！！！！



運動の意義

中学3年1組副担任
河本 健太郎

卒業おめでとうございます。体育の意義は様々ですが最後に皆さんに知って欲しいことは、運動することで脳が鍛えられることです。エジソンは「身体の主たる機能は、脳を持ち運ぶこと」と残しているほどに脳の役割は大きいのです。皆さんがこれまでに莫大な時間を費やしてきた勉強の成果は、全てその脳に刻まれています。アインシュタインの脳は1,230gと男性の脳の平均値1,350gよりも軽く、決して脳の大きさがその人の賢さに関わるものではありません。機能的に優れた脳とは各領域同士が強く連携している脳と証明されています。

身体を活発に動かすことは脳の連携を強化することに繋がります。それは、運動動作において各領域同士の連携が基本条件であるからです。野球の打者がボールを打つのに投手からのボールを見ることで電気信号が目から視神経へと伝わり、後頭葉の一次神経へと運ばれると同時に運動皮質が指令を出してボールをミートするために身体各部位を動かします。初心者が初めからそれを上手くできないのは脳の連携プログラムがスムーズでないからです。ある動作を反復練習することで脳の各領域の連携が高まります。これに付随して、運動により認知機能の向上、記憶力の改善、注意力が研ぎ澄まされる、創造性も高まるなど実に多くの効果が期待できます。

何をするにも身体が資本です。健康を維持するために定期的かつ適度な運動で人生をより良いものにして下さいね。



やってみなくちゃ わからない！

中学3年2組副担任
鷺見 拓哉

中学3年間では、問いを見つけること、答えのない中で問いを問い続けることを繰り返してきたのではないのでしょうか。普段の授業や、ミエタ・卒業研究だけでなく、中学生活そのものがそうであったように思います。

高校生活に対して、あれもしたいこれもしたいというワクワクもあれば、先の見えない不安もあるでしょう。人間の体を構成するすべての物質は物理法則に従って動きます。しかし、人生というのは何かの物理法則に従うわけではない。科学では集団を確率的に説明することは可能ですが、一人ひとりを断定することは不可能なのです。つまり、人生はやってみなくちゃわからない！のです。

相対性理論で有名なアインシュタインは、「人生は自転車のようである。倒れないようにするには走らねばならぬ。」と言っています。高校3年間は中学以上にあつという間に過ぎていきます。いくら考えても答えの出ないこの世界で生き抜くためには、目の前のことを誠実に取り組みながら走り続けるしかない。やりたいことをやりたいだけやってやろう！その先になった自分がいると信じて。



ターニングポイント

中学3年3,5組副担任
水口 翔太

中学3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は34期を送り出したあと、38期のこの学年に参加させて頂きました。まだ1年という短い時間ではありましたが、色々なことがありましたね。怒鳴り散らしたこと、他愛もない話で馬鹿笑いましたこと、時には教員生徒関係なく力を合わせたこと、かけがえのない沢山の大切な思い出があります。この1年間で成長した君たちを自信を持って送り出したいと思います。卒業式では大船先生、芦田先生とともに（私は心の中でですが…）きちんと全員の名前を呼ぶこと、それが中学校において私ができる最後のことで、無事にできているのでしょうか。それに代えてくれていますでしょうか。大学入試が人生のゴールでは決してありませんが、入試までは丁度折り返し地点、今を維持する人も本腰を入れていかなければならない人も『足を引っ張らずに手を引っ張って』、最後まで力を合わせて走り続けましょう。山あり、谷あり、楽しいことも辛いことも未来は皆さんを待ち構えています。次の3年間で何をしますか？何をしたいですか？君が高校球児なら間違いなく甲子園を目指すように、学業でもスポーツでも課外活動でもどんな分野でも構いません。テッペン目指してみませんか？18歳の君が西大和学園高等学校だから過ごせた3年間だったと言えるように。『高ければ高い壁の方が登った時気持ちいい』ですよ。今日の君の「はい!!」という返事にこれからの高校生活への希望と熱意と情熱を込めて。1年間本当にありがとう。





Presentation is a Present

中学3年4組副担任
辻 耕 仁

卒業おめでとうございます。
皆と共に歩んできた中学期間、沢山PRESENTをもらいました。
もらったPRESENTにはちゃんとお返しをしたいところですが、ここで問題。

PRESENT（贈り物）のもう一つの意味はなんでしょう？ 3.2.1...さすがですね。

PRESENT（今）という意味がもう一つあります。

もともとPRESENTに「贈り物」と「今」の両方の意味があるのは、「あなたの今の存在が既に価値あるもの」という考えからきています。実は、その「今を真剣に生きていること」が先生、親、近くの友達にとってはPRESENTな訳です。

皆は誰かにPRESENTを与えている自覚がありますか。

また、皆は過去の経験から学び、今に繋げていますか。

未来の目標を叶えるために今行動していますか。

僕が英語を好きになった理由は、PRESENTという単語を知っていれば試験で得することに気づいたからではなく、その1単語から人生を良くする学びをいくらでも得られるということに気づいたからです。だからこそ、

その1単語を1の学びのままにするかは皆次第。

その1経験を100の学びにするかは皆次第。

全ては1から始まり、そのたった1の価値をどう楽しみながら100以上に増やしていくかが高校生になる君たちの課題です。今既に100点で価値しかないんだから。

後は、どんどん挑戦・失敗してください、どんどん学んでください。

そうやって、PRESENT（今）を生きるキラキラな君たちが与えるPRESENT（贈り物）をこれからも楽しみにしています。この言葉が皆にとっての1のPRESENTでありますように。



卒業おめでとう！

中学3年5組副担任
生 中 海 優

38期のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

中学3年間はどんな3年間だったでしょうか？

新型コロナウイルスの影響で入学式を始めとする多くの行事、取り組みが中止となってしまったと思いますが、この1年はたくさんの行事や取り組みをしましたね。

4月には初めての宿泊行事で伊勢志摩、5月には初めて京セラドームで体育祭、7月には雨の中富士山に登り、9月には初の対面での文化祭、11月にはアメリカへ行きましたね。1年間で振り返ってみると「懐かしい」と感じると同時に「成長したな」と感じます。

みなさんと楽しい！嬉しい！と一緒に喜べたこと、苦しい、辛い、悔しい出来事を一緒に乗り越えることが出来たこと、成長を見ることが出来たことがとても嬉しいです。

みなさんにはこれからもたくさん楽しい！嬉しい！が待っています。それ以上に、「苦しい、辛い、悔しい」が待っているかもしれません。その苦しい、辛い、悔しいという壁はみなさんが成長しているから出てくる感情です。壁にぶつかったとき、諦めるのではなく、この3年間の経験、身につけた知識、技術を糧に高校生活をより充実して行ってほしいと思います。



Nooo!!

音

第36回



HELLO



音』

清榮祭



HEY





OOH!



HOGWARTS

NISHIYAMATO



高崎中 1 学年部長インタビュー

毎号恒例の教員インタビュー。今回は高崎道裕先生（中1 学年部長・英語）にお話を伺いました。



高崎道裕先生（以下「高」）、育友会広報部（以下「広」）

■模擬国連

広：最近うれしかったこととして、模擬国連のご指導に復帰されたことと伺っています。詳しくお聞かせいただけますでしょうか。

高：模擬国連は、究極の教育だと考えています。英語力はオプションみたいなもので、本質はそこにはなく、新しい自分発見の大きなきっかけとなり得ることに本質があります。発言の仕方や妥協能力、本人が気づいていないような欠点や良さに気づき、声かけを行うことを通じ、目の前の生徒がどんどんと成長していく姿を感じられることもそうなのですが、模擬国連の活動を本気で運営していくことにより、全国の高校生とも時に交流ができます。西大和という垣根を超え、日本の高校生と関わることができるこの活動に、この度4年ぶりに復帰しました。こんなに嬉しいことはありません。

広：世界大会に本校の生徒が参加するそうですね。

高：そうですね。本当に今年の高2は頑張ってくれたと思います。

西大和の模擬国連が大事にしているのは、『真心』と『プレゼンスの発揮』。真心をベースにしたプレゼンツの発揮であって、それが大人の世界（実際の国連）では実現できていない。高校生だったらそれが実現できるから、そこにこだわるといのが、僕の思うひとつのポイントなのですが、そこにしっかり乗っかってやってくれた成果が出たと思います。今回4回目の引率でしたけども、これまで何度もOB、OGと悔し泣きして帰ってきているんですよね。それもあから余計に今年は頑張ってくれたなという気持ちでいっぱいですね。

広：4月にニューヨークですね。

高：4月終わりぐらいにニューヨークですね。どうしましょうね。僕にとっても初めてのことでありますが全力で生徒を引率してまいります。

一同：（笑）

高：卒業生で25期生に、ジュネーブの国連（欧州本部）で働いている子がいるのですが、その子がた

またま今度の春からニューヨークの国連本部に転勤するそうです。なので、現地で会おうと思っています。

広：楽しみですですね。

高：そうですね。しかしそれ以上に、課外活動で生徒たちと関わり、こうして一緒に行けるというのが幸せなことだと改めて思いますね。

■英語の勉強法

広：英語を上達させるためには何が必要だと思われるますか？

高：英語を嫌いにならないことです。苦手であることと嫌いであることは全く別物です。どんな勉強もそうですが、嫌いになれば、何も上達しません。

広：英語の勉強は毎日やらないといけないですか？

高：英語って勉強しなくなったその瞬間から、日本人であれば実力が下がっていきますよね。だから英語は毎日勉強するというよりは、毎日触れた方が良い。これが鉄則です。英語の先生に英語の実力があるのは、毎日触れているから。僕自身も、明日から英語ではなくて別の教科を教える立場になったら、英語の実力は下がっていく。中学1年生にも最初の授業でしっかり教えました、「定期考査前に集中的に英語をやったって伸びないのだから、普段からちゃんと散らしてやりなさいね」ということです。定期考査前に何をして欲しいかという、例えば数学の問題に一間一間ちゃんと向き合うとか、普段絶対読み返さないであろう現代文や古典の文章を何周も読み込むとか。そういう定期考査前でしかできない勉強をするべきで、英語なんてそんな時にやらなくて良いという話をしています。それよりは毎日ちょっとずつやって欲しい。それこそリスニングを一気にやって伸ばそうとする人が多いのですけれど、伸びるわけないですし。

一同（笑）

高：だから生徒たちにも、リスニングと単語は自分自身の責任であるという話をしています。「どんなに僕らがチョークで黒板を叩きながら授業して

も伸びないから、普段から自分でやりなさい。その代わり読解とか英作文とか文法とかは、絶対勝たせてやるから」という風に。そこが解っていない生徒が多いのが現状です。

■子育ては攻めと我慢

広：子育ての難しい年頃で、受験までどうやって接すればいいか悩んでいるお母さんも多いと思います。

高：子どもに「こうなってほしい」という気持ちは大切ですが、親が子どもに「こうさせたい」と思いつぎないことが大切です。子どもたちの声を代弁するわけではないのですが、母親の言うことは全部刺さっていますよ。いちいち凶星だから、子どもたちはもうどうすることもできず、自分の身をガードするしかないんです。高校卒業のタイミングなのか、大学入学で地元を離れるタイミングなのかは解らないですけど、いつか必ず「ありがとう」と言ってくれる日が来ますから、それを信じて、「大丈夫なんやろ、あんた」と言うべきです。これが一番プレッシャーのかかる言葉ですから。

一同（笑）

高：頑張るしかなくなるので。その方向性のほうが良いかと思います。基本的には自分の母親の言っていた「攻めと我慢や」という言葉の受け売りですけれど。

一同（笑）

高：素直に「お母さんごめん」とも「心配かけてごめん」とも言えない年頃なので。まあそれは本人たちが一番よくわかっていると思います。

■教育のちゃぶ台返し

広：『信頼』72号の紹介欄に目標として『教育のちゃぶ台返し』と書かれているのが気になっています。

高：これは毎年書いている言葉です。

現在の世界や日本の停滞感などを考えれば、今

の教育の在り方を変えていく必要性を強く感じざるをえません。全ての職業の卵を扱うのが教育です。目の前の教科の知識や、それを基盤とした得点力といったような、スコアリングできるような部分が強調されがちな教育を、子どもたちが生きていく世界や時代をしっかりと見据えながら変えていくことは、子どもたちにとっても、あるいは日本にとっても、世界にとっても重要であると考えています。これはもう、「ちやぶ台返し」しかありません。もちろん、知識や得点力はある前提ですが、「何をもって優秀なのか」ということの再定義が臨まれる局面に、教育界は既に突入していると考えます。教科書に載っていることは、テストに問われることで常に、1=1の世界です。今は、0から1を生み出せる能力や発想が求められる時代です。そこにフィットさせる教育とは何なのかを、常に問い続けなくてはなりません。

特に今年、海外大学進学プロジェクトというのを立ち上げて思うところがあるのですが、アジア圏の学校には、偏差値さえ伸ばせば何か「すごい人」を育てたかのような風潮がある。一方で、グローバルな目線からすれば、そんな単純なことでもないという現実がある。しかしやはり、国内ではそれによって序列が生じているし、序列が生じるからこそ、点数を取らせるというのがゴールになりがちになっていて、その結果、様々な意味での良い材料が将来に向けて無くなってきている。

——これが現状ではないですか。ではどうするか。やはりIQだけではなくて、課外活動で育くまれる所謂ソフトスキルの部分や自分らしさというのも、きちんと大事にしながら教育というのを展開していかないといけない。

西大和学園というのは、最終的には国の中枢や、それこそ国連などに行くような人を輩出する学校です。だからこそ、そこにもっと力を入れていけないといけないし、そうやっていくうちに、他の進学校にも「やはりそれも大事なのかな」という気づきを与えていけるのではないかと。そうやっていくにつれて、「偏差値も大事なんだけれども、こっちについてももっと伸ばそう」という趣旨の塾だとか、取り組みだとか、枠組みが増えていったら面白いと思っています。そういう現象が起きたら、この国は、きっと将来明るい。そういうことを、ここ10年ぐらい、思いながらやっているところがあります。

だから、基本的に常に目標としては『教育のちやぶ台返し』。点数は取らせるけれども、それは前提であって、点数が取れるようになった時に子どもたちは世の中で何をするのか。人にどのような背中を見せるのか。そういうところまで含めて教えたというのが、その言葉の趣旨です。

広：深いですね。このような考えをもった先生がいらっしゃる学校に行っている子どもたちは幸せだなと思います。



「Rhythm館」が開館しました

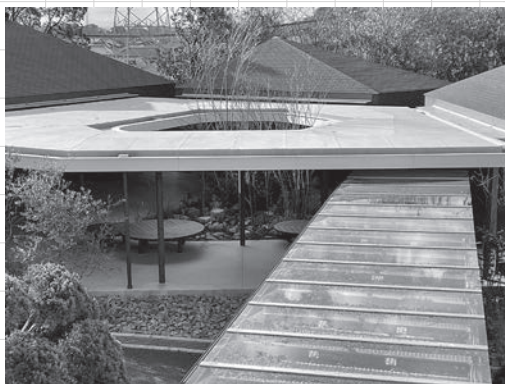
Rhythm館は優れた音響設備を持つ音楽室と、先進的なICT環境によるさまざまな活動・研究を可能にする視聴覚教室を備えた施設です。普段の授業や吹奏楽部の練習はもちろん、さまざまな課外活動で活用されています。



▲10月15日（土）に竣工式が行われました



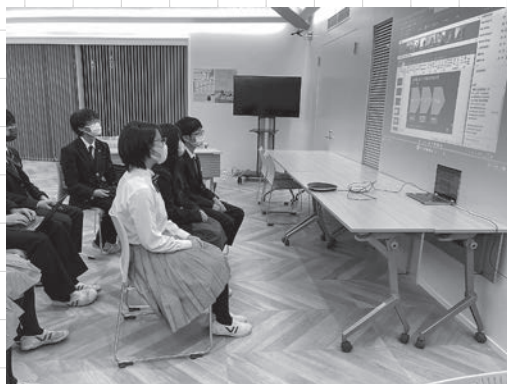
▲視聴覚教室と音楽室の間にある池



▲外観



▲吹奏楽部による音楽室のこけら落としコンサートの様子



▲視聴覚教室で生徒たちとAmazonのエンジニアの方々がオンライン会議を行っている様子

芸術鑑賞会インタビュー

「劇団四季で働く」ということ



2022年12月14日（水）と12月16日（金）、大阪四季劇場にて『オペラ座の怪人』の鑑賞会が行われました。そこで今回の芸術鑑賞会のインタビューは、劇団四季営業部の松橋さんに、芸術関係の会社で働くやりがいや、ミュージカルの魅力についてお話し頂きました。

育友会広報部（以下「広」、四季株式会社 関西営業部 部長 松橋さん（以下「松」）

■一つのチームで作り上げる舞台

広：舞台鑑賞は初めてという生徒が多いのですが、『オペラ座の怪人』の見どころを教えてくださいたいです。

松：19世紀のパリ・オペラ座を再現した豪華絢爛な舞台装置や衣裳、そして切なくも美しいストーリーです。主人公オペラ座の怪人の愛の行方を追いながら、物語にどっぷりと浸かっていただきたいなと思います。厳しいオーディションを経て舞台に立っている俳優のお芝居や歌を、存分に楽し

んでいただきたいですね。

また、学校行事での鑑賞をきっかけに、こういった演劇の世界に少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。舞台上で演じる俳優だけでなく、舞台の進行や転換を務めるスタッフ、音響や照明、衣裳やヘアメイクのスタッフなど、様々な職種が携わる総合芸術であることを知っていただき、将来の選択肢が広がることを願います。

広：ありがとうございます。今、お話ししてくださったように、たくさんの方々が携わっているんですね。関係者全員で最高のものを目指して作り上げていくというお話ですが、実際どのくらいの人数の方が関わられているのでしょうか？

松：そうですね。間違いのないように調べてきました。

一同：（笑）

広：ありがとうございます。

松：『オペラ座の怪人』は、俳優31名、本番に携わっている技術スタッフは33名おります。

営業が私を入れて11名、広報が4名、総務や経

理もあります。大阪はその人数ですが、例えば本社の横浜には舞台装置のシャンデリアの制作に携わるスタッフがいたり、日々の本番業務についていないスタッフもいますので、単純に数字に表れる人数以上に、もっと多くの人が関わってできあがっています。ちなみに、今の劇団四季全体の人数は、俳優・技術スタッフ・経営スタッフ合わせて1400人です。

広：大きな組織ですが、ひとつの舞台を作る時のチームとしての一体感というのは、すぐに生まれてくるものなののでしょうか？もし、人間関係やコミュニケーションの取り方で工夫されていることがあれば、教えていただきたいと思います。

松：そうですね。大きな組織だと、チームワークが形成されにくいとよく聞きますが、舞台に携わりたいという思いで入団している人が多いので、皆がある程度同じ方向を向いているのだと思います。また、劇団四季には創立から引き継がれる3つの理念があり、劇団員全員がその理念を共有しています。

それは「演劇の市民社会への復権」、「舞台成果による経済的自立」、「文化の一極集中の是正」。これらの理念のもとに、劇団員1400人全員が日々活動しています。

お客様に作品の感動を届けたいという共通の思いを持ち、そのための改善点や解決策を議論しますので、自然とチームワークが形成されていると思います。

広：ひとつの作品ができあげるまでに準備だったりとか、練習であったりとか、色々なことがあると思うんですけど、どれぐらい時間がかかるものなののでしょうか？

松：作品にもよりますが、何年もかかるものもあります。劇団の外部の人たちの調整などがあると、時間がかかってきます。

大きな公演では、舞台セットを作るのも、ひとつの家を建てるぐらいの作業がありますね。

広：俳優さんやスタッフの皆さん、色々な方がいると思うのですが、皆さんが劇団四季に入りたいと思われたきっかけは何でしょうか？

松：俳優には、色々なキャリアを持っている人がいます。オペラを専門にしていたけれど、この世界に転向したという人もいれば、お芝居を専門で

やっていてダンス経験はないけれど、この道に進んだという人もいます。一方で初めから劇団四季に入ることを志し、幼い頃からバレエなどのレッスンを重ねてきた人もおり、さまざまです。

私はもともと大学の工学部で学び、最初の就職はパナソニックでシステムエンジニアという、全く「真逆」の道に進んでいたのですが、当時から映画や舞台はよく観ていて、人を楽しませることが好きだったので、この世界に入りました。「好きなものを仕事にするのは辛いよ」と周囲の人から言われましたが、「好きなものだからこそ、どんな苦境も乗り越えられる」と一念発起しました。今、転職して悔いはないですね。

広：ありがとうございます。この仕事をして一番楽しいと思う瞬間っていつでしょうか？

松：そうですね。やはりお客様に「ありがとう。楽しかったよ。」と言っただけの時が一番ですね。私たちは演じることはできないですが、俳優や技術スタッフが一生懸命、日々取り組んで良い舞台成果を生み、たくさんの拍手をいただいた時はすごく嬉しいですし、みんなでやり遂げたという達成感ややりがいを感じます。

広：ありがとうございます。今はこのような職に就いていらっしゃるけれども、小さい頃の夢は何でしたか？生徒たちにも聞いてもらえたらいいなと思って。

松：そうですね。小学校の文集には警察官とか書いたことも、芸能人と書いたこともありますけれども。

一同：(笑)

松：人を楽しませたい、幸せにしたいという思いは、小さい頃からあったと思います。

■ミュージカルの魅力

広：今回の『オペラ座の怪人』以外で、是非、中高生のみなさんに観てもらいたいと思う、松橋さんオススメの劇団四季の作品を3つ教えていただければありがたいです。

松：一つ目は『クレイジー・フォー・ユー』です。ガーシュウインの曲がちりばめられ、タップをはじめとする、色々なダンスシーンが満載のミュージカル・コメディの決定版です。これは私が初めて観

た劇団四季のミュージカルであり、私の運命を変えた作品でもあります。これに出会ってなかったら、四季に入っていなかったかもしれない、大変思い入れのある作品です。2023年9月に関西各地で公演を予定しているので、機会があればぜひお近くの劇場に足を運んでいただきたいと思います。それから、2023年12月に大阪四季劇場で開幕する『バケモノの子』です。

広：映画がありますね。

松：はい、原作は細田守監督の大ヒットアニメーション映画で、劇団四季が昨年舞台化しました。東京で開幕し、一年ほど上演しているのですが、この作品が12月にいよいよ大阪にやってきます。人間とバケモノの「親子」が絆を深め、共に成長していく希望の物語です。劇団が総力をあげて創作した壮大なスケールのエンターテインメント作品なので、ぜひご期待いただきたいです。もう一つは、以前大阪で上演していた際に携わっていて、個人的にも思い入れが強い『ウィキッド』。名作「オズの魔法使い」を二人の魔法の視点から描いた作品です。何もかも正反対の二人が心を通わせ、やがてそれぞれの道へ進んでいく物語には今を生きる私たちにとって重要なテーマが散りばめられています。心に残るメロディやグッと刺さる歌詞がたくさん出てくるところも、この作品の魅力ですね。『クレイジー・フォー・ユー』、『バケモノの子』、『ウィキッド』この3作品をおすすめしたいです。

広：ありがとうございました。中学生と高校生に対して、ミュージカルの魅力をわかりやすく教えてください。

松：はい。やはり舞台の一番の魅力は、実際に目の前で人が演じているという、生のライブ感ですね。生の舞台には、映画やライブ配信とはまた違った魅力が詰まっています。毎公演、全く同じ公演はないですし、その時を一緒に過ごしたというスペシャルな体験をしていただけたらと思います。カメラの画角とは関係なく、自分が注目したいポイントを観ることができるというのも、実際に劇場で観劇するからこそその魅力ですね。

ミュージカルは、歌とダンスとお芝居という3つの要素が組み合わさった総合芸術だと言われます。様々な分野の芸術が凝縮されたジャンルだからこそ観る人への刺激にもなるので、ご覧いただ

いた生徒みなさんの可能性がさらに広がることもあるかもしれません。そういった総合芸術、生の舞台にふれていただける機会が増えれば大変嬉しいです。

広：ありがとうございます。最後になるんですが、今日の舞台、私たちもすごく楽しませていただきました。ありがとうございました。生徒たちの心にもすごく残るものになったと思うんですが、今から大人になっていく中高生に向けてメッセージをお願いできますでしょうか？

松：「今を楽しんでください」、そして「食わず嫌いはもったいない」ということをお伝えしたいです。

広：たしかに。

松：少しでも興味があるものには積極的に参加すると、思いもよらない自分の可能性が開けることもあるので、食わず嫌いをすることなく、様々なことに積極的に参加し、取り組んでもらえたらなと思います。

広：ありがとうございました。



中学3年生の一筆啓上

「愛する家族」への短い手紙

ついでの間、中学に入学したかと思えばあっという間にもうすぐ高校生になります。家族への想いを綴ります。

- ★絶対仕事大変なのにいつも優しいお父さんも、怖いときも結構あるけど結局僕のために色々してくれてるお母さんも、いつもありがとうございます！これからもお願いします！
- ★いつもいろんなことを自分のためにしてくれてありがとう。自分のことを一番わかってくれて一番の理解者です。これからもよろしくおねがいします。
- ★いつも本当にありがとう。これからも夢に向かって走り続けます。私タフヤから安心して。
- ★中学生活で様々な事があっただけど色々助けてくれてありがとう。
- ★寮にいるからいつも離れてるけど、家に帰ったとき十分すぎるほどいろんな事やってくれてありがとう。
- ★私の意見にいつも耳を傾けてくれてありがとう。
- ★ゲームばっかしてるのを何も言わずに見届けてくれてありがとう。
- ★皆勤に協力してくれてありがとう。
- ★中学3年生になるまで育ててくださり本当にありがとうございます。これから勉強がんばります！
- ★特に今年一年間はありがとうございました。僕は今年、色々活動をしてきましたが、家での会話、支えがなくて活動なども続けられなかったと思います。頼りないかもしれませんが、僕も全力で家のお手伝いなどをし、少しでも恩返しできた方がいいなと思います。
- ★成績悪くてもずっと見守ってくれてありがとう。
- ★毎日弁当を作ってくれたり、洗濯してくれてありがとう。後三年間よろしくおねがいします。
- ★中1で親元を離れて、心配も迷惑もかけたけど、無事卒業できました。本当にありがとうございます。
- ★照れくさくて言えてないけど、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ★いつも僕を心配してくれてありがとう。お母さんとお父さんのおかげで今とっても幸せです。
- ★様々な経験のためにお金や環境を与えてくれてほんとにありがとう。
- ★いつも欲しいものを買ってくれたり、好きなご飯を作ってくれたり、自分がしたいことをさせてくれてありがとう。おかげでとても楽しい毎日を送れています。本当にありがとう。
- ★いつも僕のために色々尽くしてくれてありがとう。
- ★たまにしか会えないけど勉強教えてくれてありがとう。
- ★今やもう気づけば中3で来年には高校生になる僕。迷惑をたくさんかけてしまったり、面倒を見てもらうことが当たり前になっていたりした僕は親の協力の暖かさが当たり前のように見えて実は善意によって成り立っているということを知りました。本当にありがとうございます。まだまだ未熟者で迷惑を散々かけてしまうとは思いますが何卒これからもよろしくお願いします。
- ★毎日お弁当を作ってくれてありがとう。高校生になってもよろしくおねがいします。
- ★遠いところから、寮に何回も来て、サポートしてくれてありがとう。色々なことを経験させてくれてありがとう。
- ★この学校に来てはや3年目か。いや、3年も通わせてくれるのか。ありがとうございます。
- ★寮にいつも電話をかけてきてくれてありがとう。お母さんとお父さんが大好きです。
- ★いつもありがとう。これからも僕の大切な人でいてください。
- ★ユニホームを洗ってくれたりご飯を作ってくれたりしてくれてありがとう。
- ★いつも無理言ってごめんね。でも、この3年間でたくさんの「経験」ができたよ。ありがとう。
- ★研修や合宿に行くときに、荷造りを手伝ってくれたりお弁当を作ってくれたり生活のサポートをしてくれてありがとう。何か相談したときに、親身になって答えてくれてありがとう。あと5、6年は何かしらお世話になると思うけどこれからもお願いします。
- ★父さん、母さんへ 楽しい学校生活を送れたのは、二人のおかげだと思っています。まだまだ反抗的で素直に話を聞けないこともあると思うけどいつも支えてくれてありがとう。これからも元気な二人でいてね。
- ★好いてくれる人を大事にしなかったこと、身近な人を悲しませたこと、好き嫌いで動いたこと、ごめんなさいを言わなかったこと、ありがとうを言わなかったこと、全部俺が悪い。
- ★いつも甘えてばかりで勉強もろくにしない僕のために体張って頑張ってくれてありがとう！僕は幸せ者です。
- ★中学3年間、自分が好きな事ばかりやってていっぱい迷惑かけたと思うけど、それでもそれを尊重してくれて、そのおかげで色んな経験が出来て素敵な一年を過ごせました。これからは生活態度を少し考えて生活していきます。これからもよろしくお願いします。
- ★いつも、私のことを一番考えてくれてありがとう。パパとママの子どもに生まれてくれて幸せです。これからもよろしくおねがいします。
- ★毎日のように寮に電話してくれてありがとう。いつも気を使ってくれてありがとう本当にありがとう。これからもよろしく。
- ★普段から、勉強せずにだらだらしているのを注意してくれたら、短期留学にも行かせてくれたら、、、色々ありがとう。
- ★ブラボーでは取らん。いつまでもアモーレです。
- ★嫌い。でも、やっぱり好き。産んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。
- ★いつもお弁当作ってくれてありがとう。ダイヤ改正で2、3分電車が早くなって、大変だけど、よろしくね。(鉄道会社の人にも届けっ！)
- ★いつも欲しいものを買ってくれたり、好きなご飯を作ってくれたり、自分がしたいことをさせてくれてありがとう。おかげでとても楽しい毎日を送れています。本当にありがとう。
- ★親御さん、あなた方は常に私のことに真剣に考えてくれました。よってここに感謝の意を表します。これからもよろしくお願いします。
- ★東大いくよ。
- ★勉強にあまり口出しせず好きなようにやらせてくれてありがとう。
- ★毎日美味しいご飯をありがとうございます。
- ★中学3年間、特に今年は自分の我儘に付き合ってくれてありがとう。
- ★寮生で今まで一番会えない日が続いた三年間だったけど部活も勉強もサポートしてくれてありがとう お母さんお父さんのおかげで楽しい三年間を過ごせました。
- ★これまで本当に色々ありがとう。お弁当は一日の楽しみと言ってもいいぐらい好きです。多分これからも苦勞をかけると思うけれどよろしくおねがいします。
- ★感謝と申し訳無さでいっぱい。
- ★いつも支えてくれてありがとう。
- ★いつも感謝してるけど、怒られたときのぶんの感謝を忘れてました。ありがとう。
- ★いつも大変そうだけど、頑張ってくれてありがとう。

高校3年生の一筆啓上

「愛する家族」への短い手紙

卒業に際して、今まで言えなかったこと、心の中に密かにしまっていた想いを、今日は特別に伝えます。

- ★家では気の抜けた姿しか見せていなくて心配なことは多いと思うけど、それでも私を信じ続けてくれてありがとう。これからもたくさんのことに挑戦していくので、応援よろしくお願いします。
- ★受験勉強で気持ちに余裕がなくて、普段あまり言っていないけれど、いつも私のことを守ってくれてありがとう。そして、困ったときはいつもパパとママに助けられました。私がかここで来れたのもパパとママのおかげです。心からありがとう。
- ★どんな道を選ぼうと、その道を応援してくれて本当にありがとう。
- ★今までいつもそばで支えてくれてありがとう。これからは自分の足で自分の道を歩いていきます。迷ったときは悩み聞いてね。
- ★時々、過保護なところもあるけど、ここまで育ててくれたことに感謝しています。親孝行できるようにがんばります。
- ★医学部に行きたいという私の夢をやりたいうようにと何一つ口出しせずに3年間応援してくれてありがとう。現役で合格して恩返しします！
- ★咳をずっと二人（二人して看病しにきてくれるの、やりすぎだけど嬉しかったです）
- ★離れて暮らしていても、応援してくれているのが伝わります。本当にいつもありがとう。僕が恩返しできるようになるまで待っていてください。
- ★これまでの18年間、どんな時も私のことを信じて応援してくれてありがとう。
- ★お母さん3年間朝早くから毎日お弁当を作ってくれてありがとう。お父さん3年間駅まで送り迎えをしてくれてありがとう。
- ★寮生活のため、ほとんど会えない中、遠くからでも応援してくれてありがとうございます。離れて一層、親のありがたみを感じました。
- ★帰省のたびにちょっとだけ甘やかしてくれてありがとう。帰り際に泣くお母さんを見て、自分はいつもへらへら笑ってるけど実はめっちゃ泣くの我慢しました。お母さんがいなかったらこんなに素敵に3年間は過ごせませんでした。ありがとう。／おそらく最初で最後の二人暮らし、楽しかったよ。家事全然手伝えなくてごめん。毎日学校にちゃんと行けたのはお父さんのおかげです。本当にありがとう。
- ★産んでくれて、育ててくれてありがとう。今の自分があるのは、全てお母さんとお父さんの、家族全員のおかげです。僕の行く末をこれからも見守っててください。
- ★口で言うのは恥ずかしすぎて言えないけれど、行きたいところに行かせてくれてありがとう。私を信じてくれてありがとう。
- ★この高校3年間で結局1番私のこと分かってくれたのは家族だなと思いました。ありがとう！
- ★今までお世話になりました。行ってきます。
- ★何か嬉しいことがあるたびに一緒に喜んでくれて、何か辛いことがあるたびに一緒に悩んでくれてありがとう。いつか恩返しができる日まで待っていてください。
- ★自分自身が大変で、やることもいっぱいあって、しんどいはずなのに、いつも私のことを気にかけて、応援してくれて、ありがとう。最後まで信じてくれてありがとう。大好きです。

- ★ほぼ間違いなく高3のなかで一番心配かけました。いつも気にかけてくれてありがとう。
- ★泰然たる生駒の山々を仰ぐと、父様母様が思い出されます。
- ★毎日家に帰ってきて心が和らぐような環境を作ってくれてありがとう。愛されていると感じさせてくれてありがとう。受験が終わったらいっぱい遊びに行こうね。
- ★これからも家族みんなでご飯食べに行きたいです。
- ★今振り返ってみると、反抗期もあったしたくさん迷惑もかけたし、めちゃくちゃ仲が悪くなった時期もあったよね。でも高3の僕にはわかります。如何にお母さんお父さんが僕を愛してくれていて、如何に僕が恵まれていたかを。ほんまに今までありがとう。これからもよろしくね。おもしろいお母さん、真面目なお父さん、大好きやで。
- ★僕に合わせて朝早く起きてくれてありがとう。
- ★あんなに小さかった私がかこんなに大きく成長できたのもお母様があのとき痛い思いをして産んでくれたからで、それがなければ私は今ここにはいないでしょう。世界の量子的ゆらぎの間で、この世界に生まれてくれたこと心から嬉しく思います。お父様のお勤めによる稼ぎが私の血となり肉となりました。お母さん、お父さん私を育ててくれたこと本当に感謝しています。これからは私がかあなた方の恩に報いるときです。御覚悟を…。
- ★最後まで僕の受験を応援してくれてありがとう！
- ★お母さん、朝早くからお弁当作ってくれてありがとう。お父さん、いつも相談乗ってくれてありがとう。長生きしてな。
- ★お父さん、お母さん 直接会える回数は少なかったけど、いつも色々な面で支えてくれてありがとう。6年間毎日が楽しすぎて今思えば本当に一瞬でした。特にずっと一緒に暮らした寮生たちとはたくさんの一生の思い出ができました！こんなに幸せな生活を送れたのは全部家族のおかげです。ここでの思い出は僕の宝物です。本当にありがとう！
- ★あなたがた二人はあまりに尊敬に値し、私に影響を与えた人物ランキングの一位タイです。三位はヒロトです。
- ★いろいろなことを私のためにしてくれて、感謝してもきれないです！本当にありがとう！！
- ★はよ寝たいはずなのに家帰る22時まで起きてくれてありがとう。
- ★家にいる時間より学校にいた時間のほうが長かったから、最後の一年間は会話が減ったけど見守ってくれた両親には感謝しかありません。お父さん。お母さん。二人を両親に持つ僕は世界一幸せ者です。
- ★こんなに恵まれた環境にいれることも、普通の生活を送れているのも、全て両親のお陰だと思っています。全員が全員こんなにも幸せな一日を過ごせていないことを認識した上で、当たり前で感謝し、両親にありがとうを伝えたいです。
- ★お母さんへ。仕事と家事で忙しいのに、いつも明るくて、毎朝お弁当や私と話す時間を作ってくれてることに本当に感謝しています。18年前に生まれてきたところが、お母さんとお父さんのところで良かったです。これからはたくさん恩返しさせてね。
- ★今まで18年間、支えていただき本当にありがとうございます。いつも気にかけてくれる父さん、母さん、心から感謝します。これからもご迷惑をかけるかもしれませんが、よろしく願います。
- ★いつもありがとう。大好きです。
- ★みかんの皮むいてくれてありがとう。
- ★私は素直に感謝を伝えることが出来なけれど、毎日心の中では本当に感謝しています。これからたくさん恩返しができるように成長します。

中学3年生の保護者からの一筆啓上 「愛する子どもたち」への短い手紙

中学3年間で振り返って、子どもたちへの想いをつづります。

- ♡寮生なので親子一緒に過ごせる時間が少ないのに、帰宅時にも叱ってしまうことが結構あって、その度に心の中では「本当はこんな風にしたいんじゃない」とやりきれない思いでした。本当は、自宅にいる時くらいおきなく寛いでほしいし、親子のコミュニケーションもいつだって楽しいものでありたい。「注意喚起が必要だとしても、もっと上手にやれたらよかった。」あなたが小さい頃、強く叱ってしまった日の夜にあなたの可愛い寝顔を見ながら反省していましたが、それは今も同じです。反抗期真っ只中のあなたですが、一方で、最近は怒りの出処や心のモヤモヤについて落ち着いて説明してくれる時があり、その脳内整理力や言葉への変換力が驚いたりもしています。尻理屈ではないあなたの本心がぼつりとこぼれ落ちた時、親としても気持ち的理解できて、そこから問題解決に繋がることも多いように思います。自立へ向けて確実に歩みを進めているんだと感じています。それを温かく見守りたいです。中学卒業、おめでとう！
- ♡入学前は自己肯定感が低く、将来の夢も「わからない」と言っていたが、この3年間、さまざまな経験をして自信をつけた様子が見えていてわかります。あなたのがんばりに、家族みんな元気をもらっています。これからも人とのつながりを大切に、充実した日々を過ごしてくださいね。応援しています。
- ♡毎日楽しく学校に通いましたね。これからもお友達を大切に、元気でいてください。いつも応援しています。
- ♡家の用事を手伝いながら、いつも勉強頑張ってたね。これからも応援しています。
- ♡大掃除で家計簿の整理をしていたら、2010年の子育て中の一言メモが出てきました。「自分も転んだのに、隣で転んだ友達に“大丈夫？”と声をかけていた。優しい子だなあ」と。でも、今私はあなたに「人の事を気にする前に自分の事をちゃんとしなさい！」と怒ってます。3歳から中3で、親もこうも変わってしまったのかと、反省しました。あなたの良さをもっと認めようと思います。これからも一緒に成長しよな。
- ♡いいお友達ができて、ほんとと良かったね。自分の成長を自分で楽しんでください。
- ♡産まれてきてから今までずっと優しい子だから、今後どんな道に進んでも応援していきます。実況系 YouTuber とか、限界アニオタとか、下手くそ路上ギタリストとか、びっくりするかもしれないけど大丈夫よ。そして何度でもやり直せる。これまで得た知識は誰にも奪うことができないから。
- ♡3年間で身も心も大きく成長しましたね。帰宅後に楽しそうに話してくれる学校での出来事を聞くのが嬉しかったです。ありがとう。高校でも充実した時間が過ごせるように祈っています。これからもたくさん話聞かせてね。
- ♡西大和最高！合格できてよかった。毎日楽しい！西大和に通わせてくれてありがとう。って3年間言ってくれたね。1番嬉しい、最高の言葉をありがとう。コロナ禍で本来の西大和の生活はできないこともあって、悔しかったり泣いたこともあったね。そんなときは、そんな西大和好きなら西大和の先生になって、生徒たちと行事とか楽しんだら？って言ったこともあったし、もし、不老不死になれたら？ってあなたに聞いたら、西大和の学生のままで不老不死になりたい。と答えて驚いたことも覚えています。あなたほど西大和好きはいない

とってます。素晴らしい経験、体験をさせてくれる学校、先生方、お友達のおかげです。感謝しようね。ずっと応援してるよ。

- ♡思春期で精神的に不安定であろうこの時期に、将来のことを真剣に考え、今できることを自分なりに一生懸命探して、もがきながらも実行しようとするその姿勢を心から尊敬します。あなたの人生があなたにとって楽しいものであるようにも願っています。
- ♡毎朝、ガッツポーズで家を出ていく我が子。大変なこともあるのに愚痴一つ言わず、あっぱれです。
- ♡3年前、コロナで中学入学式が延期となり、学校に通えない状態でのオンライン授業が始まりました。思い描いていた中学生活ではなかったと思いますが、通学ができるようになってからは1日も休まず、1時間半かけて通いましたね。学校の話を書いてもあまり話してくれないけど、たくさんのお友達ができ、楽しく過ごしてくれているようで、親としては大変うれしく思っています。中学卒業は西大和学園生活の折り返し地点です。これからもまわりのお友達に刺激を受けて、前に進んで行ってください。高校生になっても、もっと大人になっても、ずっと応援しています。
- ♡コロナ禍で一人入学式に向かったあなたを今も鮮明に覚えています。いろんな事に挑戦したいと言って輝いていました。今はどうですか？ほとんど休む事無くクラブに行きましたね、高校生になっても頑張ってください。応援しています。先生方や友達、色んな経験させていただきました。すべてが当たり前ではない事、いつも感謝を忘れないでいたいですね。
- ♡光陰矢の如しでしょうか。それは、この3年間がとても充実してした証なのでしょう。あなたは、我が家の太陽です。いつも我が家に元気をもたらしてくれて、本当にありがとう。願わくば、その光をこれからも周りの皆んなや社会のより多くの人に照らしてくれることを切に願っています。
- ♡何事にも一生懸命取り組み姿にいつも感心しています。自分の夢や目標に向かってこれからも頑張ってください。いつもそばで見守り、ずっと応援しています。
- ♡勉強や部活で壁にぶつかるたびに、熱くて優しい先生、友達、先輩方の力を借りて乗り越えて行く姿はとても遅く、そして輝いていました。高校に進学しても感謝の気持ちを忘れずに、自分の夢と目標に向かって全力疾走してね。応援しています！
- ♡睡魔と闘いながら、いつも遅くまで勉強している姿を見て、いつの間にかパパが背中を見せられているような気がしています。これからも自分の目標に向かって頑張ってください。パパも負けないように頑張ります。
- ♡大好きな自慢の娘へ 幼い頃は体調を崩しがちで心配が付きなかつたけれど、今では風邪をひくこともなく毎日笑顔で元気に過ごしてくれていること、とても嬉しく思っているよ。まだまだ頼りないところもあるけれど、西大和学園で素敵な先生方やお友達と出会い、いろいろなことにチャレンジしあなたは大きく成長したよな。これからの高校生活、全力でバックアップするので、後悔がないようにやりたいことを思いっきりやってね。温かく見守るつもりだけど、帰宅後の謎のダンスはほどほどにね。
- ♡世界中がコロナウイルスに混乱するなか入寮し、不安ばかりだったけど西大和生として寮生としてキャプテンとして上級生としてどうあるべきか、常に考え行動する大切さを知ったあなたの成長を感じる3年となりました。これからもたくさんの刺激を受け大人になっていってね。
- ♡中学校卒業おめでとうございます。コロナ禍で始まった中学校生活。優秀な学友と机を並べることの楽しさと大変さが

- あったことと思います。毎日元気に学校に通ってくれてありがとう。私たち夫婦はあなたの1番のファンでサポーター。部活に勉強、お友達との時間、いつも頑張っているあなたを応援し続けているよ。
- ♡朝早く起きての電車通学や、夜遅くまでの勉強やクラブ活動など、よく頑張りましたね。家では、買い物や料理などのお手伝いもしてくれて、助かりました。ありがとう！これからも、応援しています！
- ♡電車で爆睡して乗り過ぎたり、忘れものしたり、その他たくさんトラブルもあるけど、毎日遅刻しないで通ってる。えらい！コロナでたくさんの行事がなくなってしまったのは残念。でも毎日楽しそうに学校に行っているのを見ると、西大和に入学できて本当によかったと思う。これからはもっと楽しい高校生活が待っているよ！
- ♡この三年間、かけがえのない経験がたくさんできたね。野球部の応援を通じて私もその一部を共感できたこと、とても感謝しています。ありがとう。これからはあなたとあなたの大切な仲間を応援しています。
- ♡素晴らしい環境に恵まれた3年間でしたね。あれもしたいこれもしたいというあなたにとっては最高の学校で、勉強も部活も友達との時間もとても充実している事を毎日ママも感謝しています。すべき事が抱えている事が多すぎて辛い時もありますね。それでも一つ一つ確実にこなしていく事ができている！どんどん成長して大人になっていく姿が誇らしくもあり寂しくもあります。もう一度小さなあなたを抱きしめたいと思いますが、もう叶いませので、これからは心の中でぎゅっ一ついつでも抱きしめます。あと3年間精一杯楽しく過ごしてください。期待しています！
- ♡中学生になって、小学生の頃とは見た目も言動も少年からすっかり青年になり、とても誇らしく思っています。この3年、本当に本当に色々ありました。あなただけでなく、私自身とても成長できた時間を過ごせました。本当にありがとう。これからもずっとよろしくね。卒業おめでとう！
- ♡コロナと共にあった3年間。思い通りにいかないこともたくさんあったと思いますが、一歩ずつ進んできた君に、いつでもエールを。
- ♡先生方やお友達に恵まれ楽しく過ごしている姿、毎日遠い道のりを通しての姿にはとても励まされます。私が具合が悪いときはいつも気にかけてくれて、その心の優しさに癒やされ支えられています。高校生になればもっと忙しくなるでしょうが、元気に楽しく過ごせるようにと心から祈っています。
- ♡コロナ禍での中学生生活でしたが、先生方が大きなチャレンジをして下さったおかげで、富士登山や海外研修など多くの貴重な経験をさせて頂きました。今度は、あなたがチャレンジする番です。夢中になれるのを見つければ、夢に向かって頑張ってください。いつまでも応援しています。
- ♡あっという間の中学生生活でした。自分で決心した寮生活どうでしたか？色々心配しました。今も色々心配ですが、学校だけではなく、寮でも友達に恵まれ楽しそうにしている様子を聞くと安心します。もちろん大変なこともたくさんあったとは思いますが、高校生活も充実したものにできるように応援しています。
- ♡親が思っているよりも、ずいぶん成長していたのですね。こちらも関わり方を振り返らなければ、と思いつつながら過ごした3年間でした。仲間と共に成長できる今いる場所に感謝し、ますます成長することを祈っています。
- ♡親元を離れて3年。邪魔してはいけないと思いきなり電話しないけど、親が子のことを考えない日は1日もないよ。いつも家族みんなで応援しています。
- ♡大切なあなたへ 幼い頃からあなたはいつもニコニコとして多

- くの友達と共にいる人でしたね。入学式が6月という中学生生活の始まりは心配が先に立ちましたが、中学2年生の清菜祭の日に「はい(お土産)」と少しはにかみながら、パルーンアートの花束を私にくれましたね。制靴に入らないほど大きかったピンク色のお花とあなたの優しい気持ちは、今でも私の宝物です。中学3年生になったあなたには頼もしさも感じます。これからはあなたらしさを大切に、素敵な青年に成長してくださいね。
- ♡3年間遠距離の通学、大変でしたね。コロナ禍で始まった中学生生活、よく頑張ったと褒めてあげたいです。最初はちゃんと学校に着くのか家に帰れるのか心配でしたが、いまや、途中下車で何かやらかささないか、いやもうやってる、と心配する日々。信頼はしているのですが何事も自己責任で。
- ♡入学した頃「行ってきます」という背中があまりにも頼りなさげで心配でしたが、今ではすっかりたくましくなりました。(大変なことも沢山あるとは思いますが)先生や友達に恵まれて楽しい学校生活を送っているんだらうな、と嬉しく思っています。憧れの学校での生活もあと半分になりましたね。心残りのないように精一杯あなたらしく駆け抜けて下さい。応援しています。
- ♡一筆啓上 三年間、毎日くたくたになりながら通っていましたね。本当によく頑張りました。先生方やお友達にたくさん支えてもらったことを忘れず、感謝の気持ちを大切にしてくださいね。私達はこれからはずっと応援しています。
- ♡西大和に通い始めたあの日から少しずつ成長してきましたね。これからは感謝の気持ちを忘れずに一歩ずつ前へ！応援しています。
- ♡3年間、よく頑張りました。スタートが大変な学年でしたが、新しいお友達も出来、様々な経験をして成長したなあと思っています。思い通りにいかないこともあったらうし、これからのあるでしょう。でも、立ち向かう姿勢をこれからも見せて下さい。いつも応援しています。
- ♡三年間、毎日早起きして、頑張って通学しましたね。入学したばかりの時は、毎日ちゃんと通学出来るのか、無事に自宅に帰って来れるのかと心配ばかりしていたのを、今でも思い出します。尊敬出来る先生方と優しいお友達のおかげで、楽しく学校生活を過ごすことが出来て良かったですね。残りの三年間、大切に時間を使ってください。
- ♡不器用だけど何事にも一生懸命なあなた。どんな時も応援しています。先生方やお友達への感謝の気持ちを忘れず、あなたらしく輝いてね。
- ♡生まれる前から、そして生まれた直後もトラブル続きで丈夫に育ってくれるか心配でした。その後は大きな病気もなく、元気に育ってくれてありがとう。両親が多忙のあまり、何事も自分で判断、決断する子に育ちました。中学受験もサポートはほぼなく、自力で乗り切りましたね。頑張りましたね。ただ、困ったことがあれば、人に頼ってもいいのですよ。自分を過信することなく、周囲の意見を謙虚に受け止め、実践できれば、君の未来はもっともっと広がると思います。応援しています。
- ♡コロナ禍でも全力で中学校生活を満喫させます！学年団の先生方から、熱い言葉をオンラインでいただきスタート！日本初の入学式配信のおかげで、恩師や妹弟まで参加できて、良かったー！野球部で合宿は無くて、いつでも試合出来るように、練習で全力出すように指導していただき、あなたの基礎が出来たように思います。この三年間、他にも色々意欲的に活動してくれてありがとう！我が家の宝物が、社会で必要とされる日まで、応援しています！もう少し早く寝て、あと三年西大和生活楽しんで下さい。

高校3年生の保護者からの一筆啓上 「愛する子どもたち」への短い手紙

高校3年間で振り返って、子どもたちへの想いをつづります。

- ◎自分の勉強時間を犠牲にしても第一に妹のことを大切に思ってくれてありがとう。この3年間、何事に対してもこつこつと努力をしてきたと思います。そんな貴方の幼いときから抱き続けてきた夢が実現できるよう父母妹はこれからもずっと応援しています。
- ◎高校3年間、日々の勉学に努力し、これから生きていく上で素晴らしい糧を手に入れることができたとともに、大きく成長したことに父母とも感謝です。本当にありがとう。
- ◎コロナ禍でも西大和学園だったからこそ充実した3年間で過ごさせてくれたことを嬉しく思っています。ありがとうございます。一番大切なことが目に見えない、内面で輝くからこそ、とても大きな価値があるんだと教えてくれたように思います。それは、先生方やクラスメイトと築いた“信頼”であったり、決して安易でない道を昇る“努力”の最中こそが、生命のキラキラ輝いている瞬間だということです。これからも感謝と敬意を心に留めつつ、勇気を持って歩み続けて下さいね。蔭ながらいつも応援しています。
- ◎色んな事を我慢して、ここまでよく頑張ったね！そんな君をとても尊敬しています。そして、とても愛おしく大切に思っているよ。これからも自分を信じてまっすぐ前を向いて歩き続けてね。体には気をつけて。これからもずっと見守って、応援してるね。
- ◎驚くほど幼いと感じることも多いけど、驚くほど素直で真っ直ぐに育ってくれていることに感謝します。父母だけで育てていたら、こんなに真っ直ぐには育たなかったことでしょうか。保育園時代から多くの皆さんに可愛いがってきてもらったからこそのでしょうね。多くの皆様に感謝しています。今はまだ何になりたいかもわからなくてもがいているけど、ひたすら頑張る日々は、何になるにしてもあなたの糧になっていることでしょうか。その中でこれまであなたを育てるのに関わってきた皆さんが「あなたらしいね」と笑顔で応援してくれるものになっていくことでしょうか。みんなから愛されて大きくなったあなたは今度は他の皆さんに愛情を返して行くことができる人になっています。こんなよき人に育ってくれたことに感謝します。
- ◎親元を離れ、寮生活で始まった高校生活。コロナ禍でのニューノーマルな毎日を良く頑張ったね！西大和での3年間で心も体も逞しくなった息子が誇らしいです。出逢いに感謝して、これからも努力を惜しまない人でいてね。いつも応援しています。卒業おめでとう！
- ◎楽しいこともしんどいことも全てがあなたを成長させてくれた3年間でしたね。自信と希望を持って次のステージへ羽ばたいて下さい。大丈夫！あなたの未来は輝いてるよ！！
- ◎幼稚園の七夕祭り「シンケンジャーレッドになりたい！」と書いていたあの頃の夢、覚えてますか？いつの間にかもう高校3年生…コロナ禍でしたが素敵な仲間に出会い充実した日々でしたね。繋がったご縁を大切に、前へと進んでください。これからもずっと応援しています。
- ◎沢山の方々の手をお借りしてここまで育ててきたことに感謝しています。コロナ禍の高校生活の始まりでしたが、私自身も色々な学びや経験をする事が出来ました。疲れすぎて、玄関で倒れそうになりながら、どんな時も前向きに、みんなで進んでいこうとする姿に何度も感動しました。西大和での多

- くの出会いに感謝して、これからも努力を忘れずに自分らしく過ごして下さいね。応援しています！
- ◎コロナ禍の中いろいろな行事がなくなったり縮小されたりで楽しい事が通常の年より少なかった3年間でしたが、それでも最大限いろいろな事を友人たちと楽しみながら、また勉強面でも助け合いながら大変な3年間をがんばって過ごしてくれたと思います。あとは西大和で培ったがんばる力を武器にして、自分の思う道へそれぞれが笑顔で進める事を心から祈っています。
- ◎卒業おめでとうございます。今どんな風景が見えていますか？こちらの学校に導かれての3年間はたくさんの学びの連続だったと思います。これからの人生、周りからの優しさに敏感であってください。そして自ら与えることのできる正義を惜しまず、導かれながら前に進めるということを決して忘れず、さらに美しく壮大な風景に出会えるます様に心から祈っています。
- ◎夢になれる事を探し続けていたあなたが、勉強や課外活動に没頭し「忙しく挑戦している自分が好き」と言った時、「最高！」と思いました。これからも変わらずあなたを応援しています！先生方や友達、素晴らしい出会いに感謝してね。
- ◎毎日毎日コツコツ努力するあなたを見て、私も頑張らなくちゃって何度励まされたかわかりませんがいつもありがとうございます。これからも、お互い、Another Step 続けていこうね。
- ◎小さい頃から私達を色々と楽しませてくれましたね。それは憧れの西大和学園に入学してからも続いていきます。本当にあなたは私達にとって唯一無二の存在です。これからも輝き続けて下さいね。
- ◎父、母や先生方に温かく守られていた6年間は人生の春にたとえられ、仲間と一緒に芽吹き、成長し、卒業とともに花開きました。そして季節は次に移ります。「船よりも白き航跡夏はじまる」2度はない人生の夏を思い切り生き抜いてください。
- ◎卒業おめでとう。君がここまで頑張り屋さんだとは思っていなかったよ。毎日頑張っている君を見て何度も何度も「無理しないでいい」「受かる大学でいい」と思いました。言葉にして伝えてしまったかもしれません。でも本当は私が不安と戦う君を見ているのが辛かったです。君が頑張っているのに心配で仕方なかったのです。情けない親でごめんね。君の頑張りはこの先の人生で大きな力となるはずですよ。感謝を忘れず逞しく生きていって欲しいと願います。
- ◎終始コロナに振り回されたし、悲喜交々いろいろあったけど、西大和学園での3年間はあなたにとって人生最大の宝物！大事にしてね。卒業、おめでとう！
- ◎ついにお弁当作り生活ともお別れです。母の愛情は伝わってましたか？たくさんバトルもしましたが、全て貴方からの愛情と思って受け止めていました。貴方のおかげで、母はかなり我慢強くなり、楽しい子育てを経験できました。ありがとうございます。春からはいよいよ一人暮らし。ちゃんとお米食べてね…。ずっと応援してます。卒業おめでとう～！
- ◎入寮の日からしつかり馴染んで何の心配もないことに少し淋しさを感じたのはいつの間だったように思いますが、あつという間の6年間でした。色んなことに前向きに楽しんで参加する様子が頼もしく誇らしく本当に良い学校で良い時間を過ごせましたね。健康第一でこれからも頑張ってください。
- ◎3年間お疲れ様でした。あなたの夢を叶えてあげたくて、頑張れ頑張れとばかり言ってごめんね。あなたは言わなくても頑張っていました。そのままのあなたが大好きです。でも西大和で頑張ったあなたは素敵でした。これからもいつも応援しています。

- ♡西大和での6年間、様々な喜怒哀楽を経験し、優しさや強さの両面を持つ人に成長しましたね。心から伝えたい。卒業おめでとう！！
- ♡中学入学時はほんとうに幼かったけれど、学校生活でのいろんな経験、友達との切磋琢磨を経てこの6年で本当に成長しました。大学受験を控え、自分で将来を考え、自分で切り開こうと頑張っている姿をみて眩しいです。あなたの幸せな未来にむけて全力で応援しています。
- ♡6年間の西大和学園での生活はどうでしたか？帰宅したら「今日も楽しかったよ〜」と毎日言ってくれたことが嬉しかったです。西大和学園で出会えた先生や友達とのご縁をこれからも大切に、大学生になっても楽しく過ごして下さいね。
- ♡6年間、遠路学校に通い続けたあなたを誇りに思っています。これからも笑顔忘れず幸せな人生を送ってね。
- ♡色々あったけど、元気でいてくれる！それだけで十分です。生まれてきてくれて有難う！
- ♡西大和学園で学んだ事や体験した事、寮生活を通して、多いに成長したあなたのことを誇りに思っています。楽しかった事より、大変だった事のほうが多かったかもしれませんが、その全てがあったからこそ今があるのだと思っています。さあ、いつの時も誠実に謙虚に、自分の描いた人生を精一杯歩んでいってください。
- ♡将来の道は勇敢に前に進んで、自分を信じて、自分で頑張るって開けます。悩み事がありましたら、いつでも相談しに来てね。応援しています。
- ♡あなたが産まれた時、幸せに満ち溢れていました。18年経った今ではその幸せに厚みが出て何物にも代えがたい物となりました。この先、何があっても私達はあなたを信じ、ずっとずっと愛し続けるでしょう。あなたの笑顔があなたが発する言葉が行動が私達を突き動かします。生まれてきてくれてありがとう。
- ♡西大和に入学してから、早6年が経ちましたね。高校生活のほとんどがコロナ禍となった中でも、自分なりに率先して行事に参加し、学校生活を満喫していたことを嬉しく思っています。そして、一日も学校を休まず通学し、勉強や部活を頑張ったことを誇りに思います。これからも応援しています。頑張れ。
- ♡毎日4時間の旅を6年間よく通いましたね。雨の日も風の日もその背中を見送りました。大きくなるたびに嬉しさを感じました。西大和での経験をもとに自分の足で大きく旅立って下さい。沢山の感動を感謝します。
- ♡18歳のあなたへ。人生の1/3を西大和学園と寮で過ごしましたね。希望通り、最後まで学校も寮生活も楽しみましたか？お母さんはあなたの眩しい笑顔、優しさ、気遣い、心の成長を感じる6年間を過ごすことができたこと、心から感謝しています。あなたがここで築いた数々のご縁は、人生の宝物となり、時には誰かを支え、また助けてもらうことがきっとあるでしょう。これからも絆を大切に、大学生活を謳歌してね。
- ♡小学6年、中学と勉強や生活態度をめぐってかなり激しいバトルを繰り返してきたあなたが、今ではとてもいい話し相手です。大学生生活が楽しすぎても、たまには帰ってきてよね。ポテサラ作って待ってるよ。
- ♡桜舞う合格発表をPC画面と一緒に確認して泣いて抱き合った日から早6年。沢山の貴重な経験をさせて頂いた西大和での学園生活を振り返り「見聞が広がり西大和で良かった」と聞いた時は、あなたを一番近くで応援できた事を母も幸せに感じました。静かに闘志を燃やすあなたは、母の誇りです。これからもずっと応援させていただきます。夢を叶えてあなたの人生に花を咲かせて下さいね。
- ♡6年間親元離れてよく頑張った。思い返すと胸が熱くなりま

- す。12歳からひとつも弱音を吐かず寮生活をやりきったあなたを誇りに思います。この先の人生も自信を持って好きな道を切り開いていけると信じています。全ての先生、友達に感謝し、胸張って卒業してくださいね。帰りを心待ちにしています。
- ♡まわりの人への感謝を忘れずこれからも頑張れ。私とパパはあなたの事をいつまでも応援しているよ。
- ♡寮生活の6年間、よく頑張ったと思います。途中の数年間は大変なことでどうなることかと途方に暮れた事もありました。これからも自分で納得して進むべき道を決めていくのでしょう。こだわりを大事にしつつ、視野を広く持って人生を楽しんでね。いつもどんな時も応援しています！
- ♡慣れない電車通学を不安な気持ちで見送ったあの日はもう6年前。早いものですね。思いもよらないコロナの世の中で色々制限される高校生活を愛いで晴れる日を祈って母は何度も泣きましたがそんな中でもあなたはかけがえのない友達、先生に出会って青春を送っていましたね。西大和生活、楽しかったよね（母です）。いつのまにか反抗期も過ぎ、優しい素敵な子になりました。息子よ、これからのあなたに幸あれ。ずっとずっと応援しています。
- ♡あつという間の高校生活でしたね。いいお友達に囲まれたいい先生に出会えほんと！良かったですね。感謝の気持ちを忘れず頑張ってください！応援してます。
- ♡6年間、よくがんばりましたね。クラブも頑張りました。遊びも目一杯しました。全身赤タイツも全身銀色タイツも着ました。西大和でなければ、高校3年生で2色も全身タイツはないでしょう。本当にいい思い出です。楽しい事ばかりではなく、先生方にも沢山叱られたかと思えます。それでもいつもあなたから発する言葉は「西大和の先生たちは生徒の事、本当に思ってくれてる。」「めっちゃいい友達に巡り会えたから、西大和で良かった。」でしたね。私もあなたのお陰でもとてもステキなママさん達とお友達になりました。感謝しています。素晴らしい人達に囲まれて6年間を過ごせた事を忘れず、自分の色を大切に、前を向いてまた歩いて下さいね。楽しい6年間をプレゼントしてくれてありがとう。
- ♡「いつもお弁当を作ってくれてありがとう」って言ってくれて、ありがとう。
- ♡素晴らしいお友達にも恵まれて楽しい6年間を過ごせたね。ママも楽しませてもらいました。一緒にいれる時間はどんどん短くなるけど、ずっと応援してるからね！
- ♡あつという間の6年間でしたね。約2時間かけての通学を1日も嫌がることなく登校した姿は立派でした。先生方と友達への感謝の気持ちを忘れないでね。これからお父さんとお母さんは宝物のあなたを応援しています。
- ♡遠くでも通いたいと、12歳で人生を初めて選択してから6年。あの時の選択は大正解だったね。これからもたくさんの選択をし続けると思うけど、自分に自信をもって前に進んでね。中高の経験は、後悔も楽しかった事も全て大切な財産になるよ。どんな時も応援しています。
- ♡ほぼ無遅刻無欠席！毎日楽しそうに学校に行き、先生、クラブや友達との関わりで日々成長していくあなたをとても誇らしく思っています。これからもずっと応援してるよ。
- ♡卒業おめでとう！3年間コツコツ頑張ったね。盛りだくさんの授業について行くのは大変だったと思います。ほぼ毎日、朝自習のための早朝登校、よく続けたね。AIPやクラブ活動にもトライし、良い経験ができたね。自分で文理選択も、進路も決めたよね。素晴らしい。先生、同級生や友達に、人生を謳歌する充分な力を授けてもらったはず。感謝し、熟慮し、今後も信じた道に進んで下さい。これからもずっと応援しています。

